



No. 3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和7年度第4回

神戸港 国際海上コンテナターミナル整備事業

【再評価】

令和7年12月
近畿地方整備局

目 次

1. 事業概要		2
2. 事業費・事業期間の見直し		5
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点		9
4. 事業の必要性等に関する視点		10
5. 事業進捗の見込みの視点		14
6. 関係自治体の意見		15
7. 対応方針(原案)		16

1. 事業概要 ～ 国際コンテナ戦略港湾を取り巻く背景 ～

近隣アジア主要港との競争が激化する中、神戸港は平成22年8月、大阪港と共に国際コンテナ戦略港湾「阪神港」に選定され、国際コンテナ戦略港湾政策を推進している。

政策目的

国際基幹航路(※)の我が国への寄港を維持・拡大することにより、企業の立地環境を向上させ、我が国経済・産業の国際競争力を強化 ⇒ 雇用と所得の維持・創出

※国際基幹航路：アジアと欧州・北米といった地域間を、各地域の主要な港湾に寄港しながら結ぶ、国際海上物流の幹線として機能する航路

政策目標

国際コンテナ戦略港湾において、北米・欧州航路をはじめ、中南米・アフリカ等多方面・多頻度の直航サービスを充実させることで、我が国のサプライチェーンの強靱化を図り、グローバルに展開する我が国立地企業のサプライチェーンマネジメントに貢献する。

※直航サービスの充実に向けて、荷主の利便性向上の観点も踏まえ、優先順位やターゲットとする貨物を明確化した上で取り組む

【新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会 最終とりまとめ(令和6年2月)】

取り組み

国際コンテナ戦略港湾への「集貨」

- ・ 東南アジア等からの広域集荷のための輸送ルートの構築
- ・ 円滑な積替機能の確保による効率的な集荷に向けた、コンテナターミナルの一体利用の推進

国際コンテナ戦略港湾への産業集積による「創貨」

- ・ 流通加工・再混載等の複合機能を有する物流施設の立地支援及び物流手続きの円滑化

国際コンテナ戦略港湾の機能強化等による「競争力強化」

- ・ 船舶の大型化・積替円滑化等に対応した大水深・大規模コンテナターミナルの形成
- ・ 生産性向上と労働環境改善に資する荷役機械等の技術開発及び実装等によるDXの推進

1. 事業概要

■ 整備目的

- 国際コンテナ戦略港湾において、北米・欧州航路をはじめ、中南米・アフリカ等多方面・多頻度の直航サービスを充実させることで、我が国のサプライチェーンの強靱化を図り、グローバルに展開する我が国立地企業のサプライチェーンマネジメントに貢献する。

■ 事業の概要

□ 整備施設

- 直轄事業：岸壁(水深15m)、岸壁(水深16m)(耐震)、
岸壁(増深・耐震改良)
航路・泊地等(水深15m、水深16m)
防波堤
荷さばき地 等
- 補助事業等：臨港道路、物揚場(水深4m)
貸付事業・起債事業
(ガントリークレーン、コンテナヤード、ゲート、管理棟等)

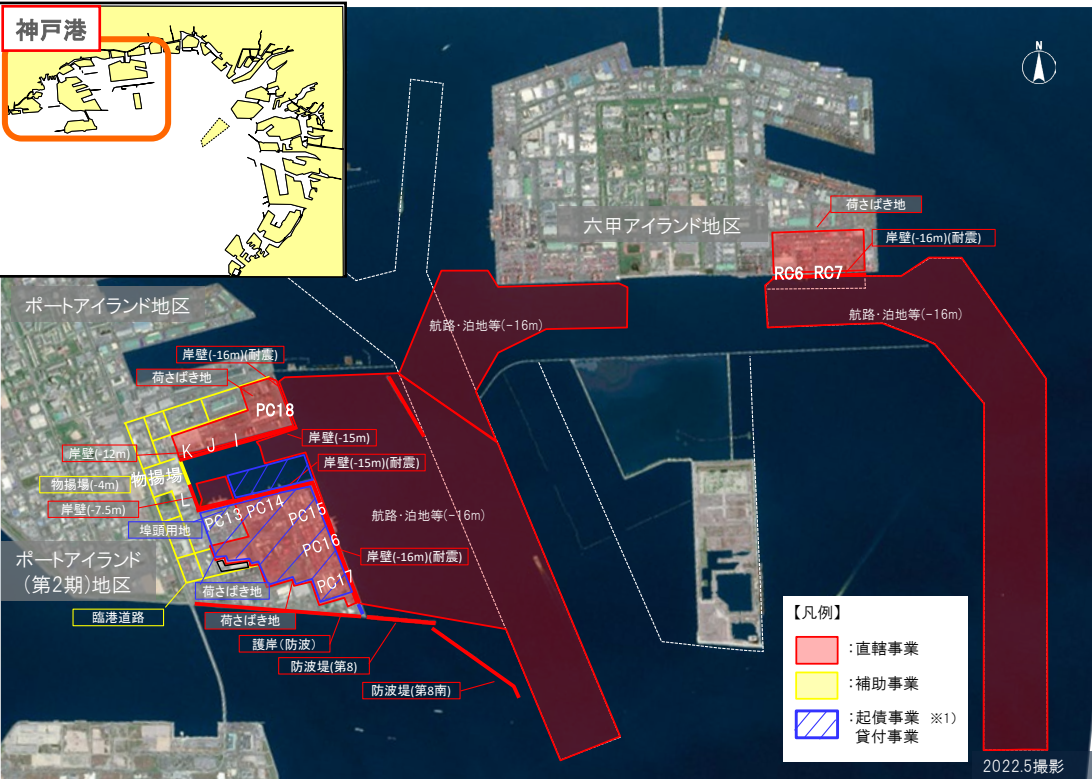
□ 事業期間

昭和62年度～令和13年度
(1987年度～2031年度)

□ 総事業費

約5,307億円

■ 位置図



※1) 起債・貸付事業は、凡例で明示する他に事業対象コンテナターミナルでのガントリークレーン等の整備がある。

■ 前回評価(令和3年度)からの変更

	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和7年度)
事業期間	昭和62年度(1987)～ 令和9年度(2027)	昭和62年度(1987)～ 令和13年度(2031)
事業費	約4,958億円	約5,307億円

2. 事業費・事業期間の見直し

■事業期間の延長

- ・ コンテナターミナルの供用を維持しながら工事を進める必要がある。
- ・ 各工事で閉鎖する面積の縮小や施工方法の見直しを行った結果、事業期間を4年間延長する必要が生じた。

■全体事業費の見直し

- ・ 物価上昇による資機材費・労務費の増額及び地中障害物への対策に伴い約354億円の増額が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体で約349億円の増額が発生。

【4, 958億円⇒5, 307億円(+349億円(約7%増))】

■事業費増加の要因

- ①物価上昇による資機材費及び労務費の増
- ②地中障害物への対策に伴う事業費の増

■コスト縮減の取り組み

- ③現場発生品(方塊ブロック)を用いて、本体工の一部として有効活用

事業費増加の内訳

(単位:億円)

No.	主な増加要因	金額	
		増額	減額
①	物価上昇による資機材費及び労務費の増	+284	
②	地中障害物への対策に伴う事業費の増	+70	
③	(コスト縮減案) 現場発生品(方塊ブロック)を用いて、本体工の一部として有効活用		▲5
合 計		349	

2. 事業費・事業期間の見直し

【事業期間の延長】

- ・ コンテナターミナルの供用を維持しながら工事を進める必要がある。
 - ・ 各工事で閉鎖する面積の縮小や施工方法の見直しを行った結果、事業期間を4年間延長する必要が生じた。
-
- ・ 本事業は、コンテナターミナルの供用を維持しながら工事を進める必要があるため、ユーザーとの調整を重ねながら、一定の範囲を閉鎖することで工事区域を確保し、工事を進めている。
 - ・ 貿易動向や国際情勢の影響により、ターミナル内にコンテナが滞留し、各工事で広い面積を閉鎖することが困難となったため、閉鎖面積を縮小することとなった。
 - ・ さらに、工事区域に近接して荷役機械が稼働することとなり、安全確保を考慮すると、投入可能な施工機械が1～2台に制限され、年間施工量が当初想定の半分程度にまで低下することとなった。
 - ・ このため、事業期間を4年間延伸する必要が生じた。

変更前



(閉鎖面積の縮小)



- : 現在閉鎖して施工している箇所
- : 以前は同時に閉鎖して施工できていた箇所
(現在は供用維持のため閉鎖できない)

各工事で閉鎖する面積が大きく、荷役機械との離隔を十分に確保できるため、施工機械を多数投入可能

変更後



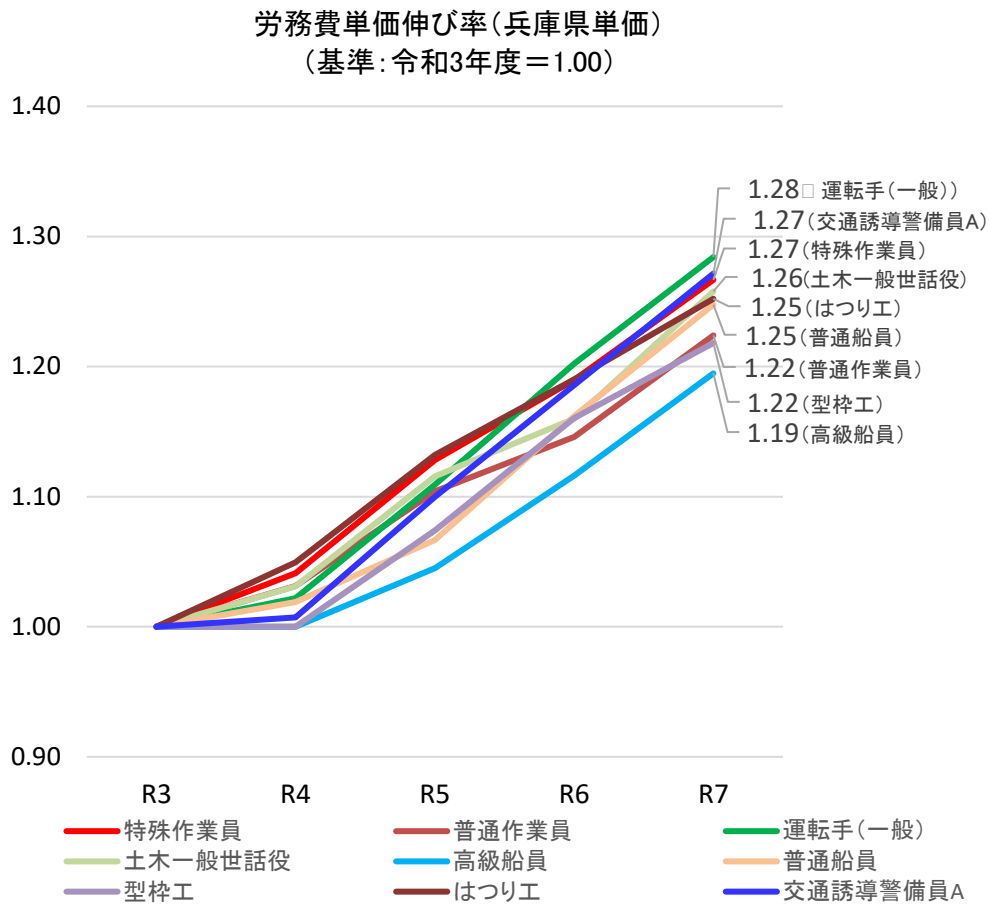
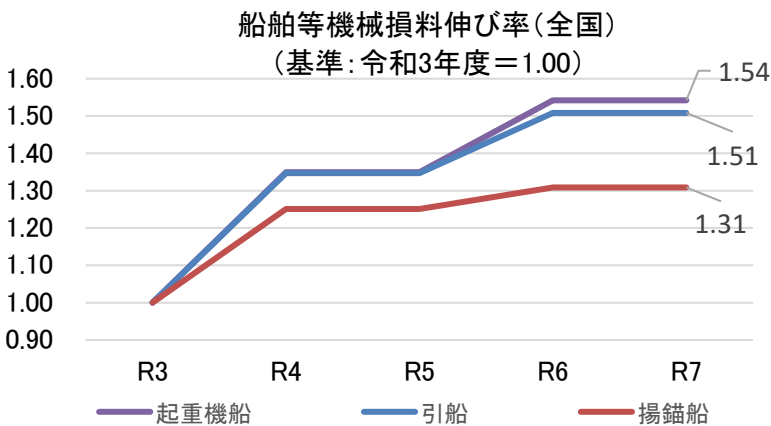
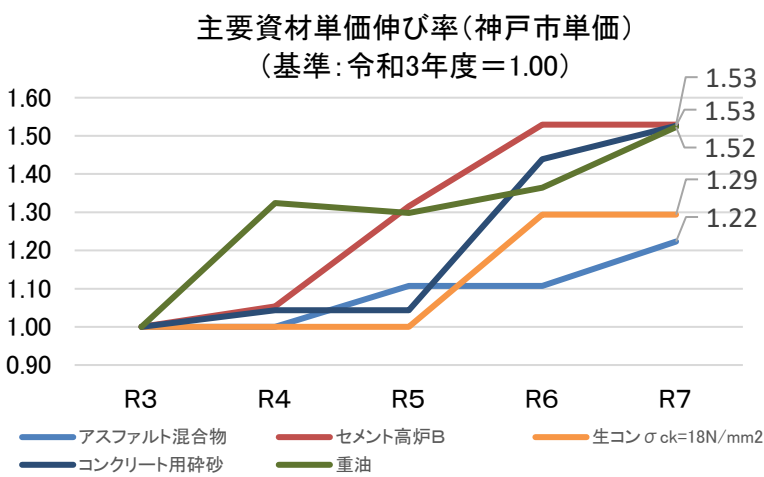
各工事で閉鎖する面積が小さく、閉鎖範囲に隣接して荷役機械が稼働するため、安全確保の観点から施工機械の投入量が制限される

2. 事業費・事業期間の見直し

【事業費の増加】

物価上昇による資機材費及び労務費の増

- 事業期間の見直しに伴い事業費を精査したところ、前回評価(令和3年度)以降、公共工事関連単価等は経年的に上昇傾向にあることが判明。
- 令和3年度時点を基準とした場合、労務単価が約1.3倍、材料単価が約1.4倍、船舶損料が1.5倍となる等の影響で約284億円の増額の必要が生じた。



2. 事業費・事業期間の見直し

【事業費の増加】

地中障害物による事業費の増

- 耐震岸壁と一体的に機能を発揮させるため、地震時の地盤の液状化対策として、荷さばき地の地盤改良工事を実施。
- 地中障害物を考慮し硬質地盤に対応した機械攪拌工法による施工を想定していたが、想定以上にコンテナターミナルの埋立土に礫や玉石などが地中に含まれており、先端部の機械損耗が著しく部品交換などが頻繁に発生。この影響で約70億円の増額の必要が生じた。

機械攪拌改良機械



攪拌ロッド
(攪拌翼)

攪拌ヘッド

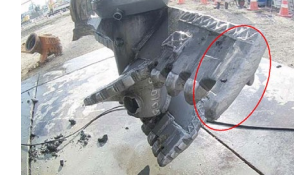


改良機械
先端攪拌翼

摩耗(破損)前



摩耗(破損)後



地中に含まれる礫、玉石(掘削除去の事例)

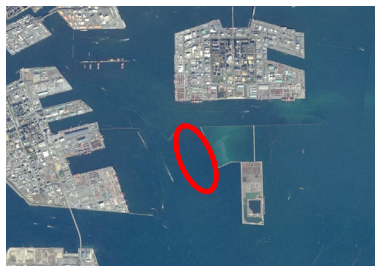


3. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減及び代替案例

- 本事業の浚渫土砂受入施設として整備する護岸において、他事業の防波堤撤去工事で発生した現場発生品（方塊ブロック）を本体工の一部として有効活用することによるコスト縮減を進めており、全体として5億円の縮減が見込まれる。

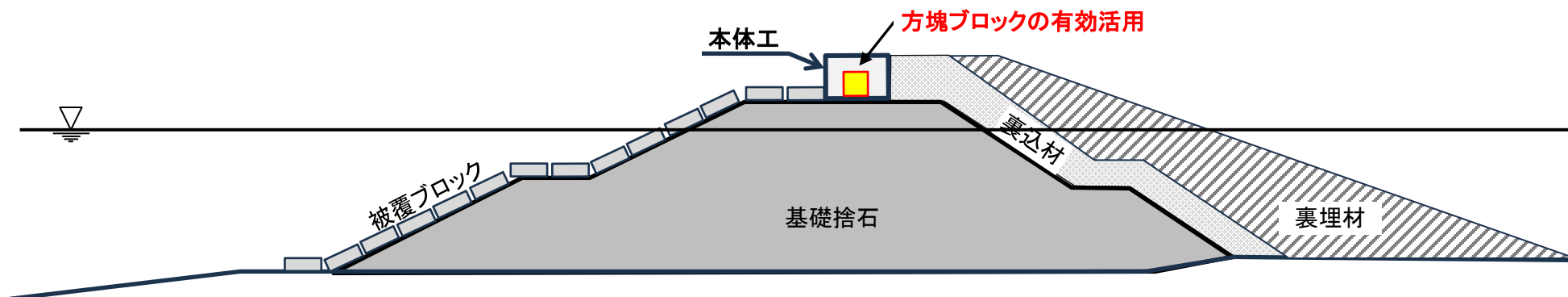
【位置図】



他事業の防波堤撤去工事で
発生する方塊ブロック



本事業の浚渫土砂受入施設
本体工への活用状況

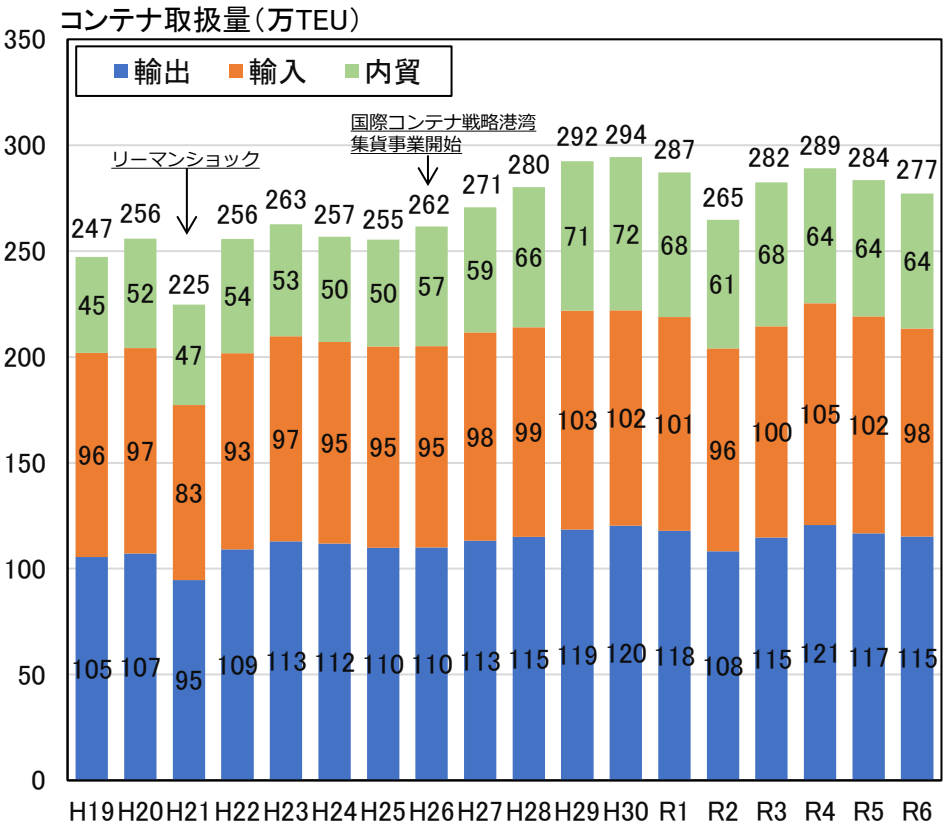


4. 事業の必要性等に関する視点

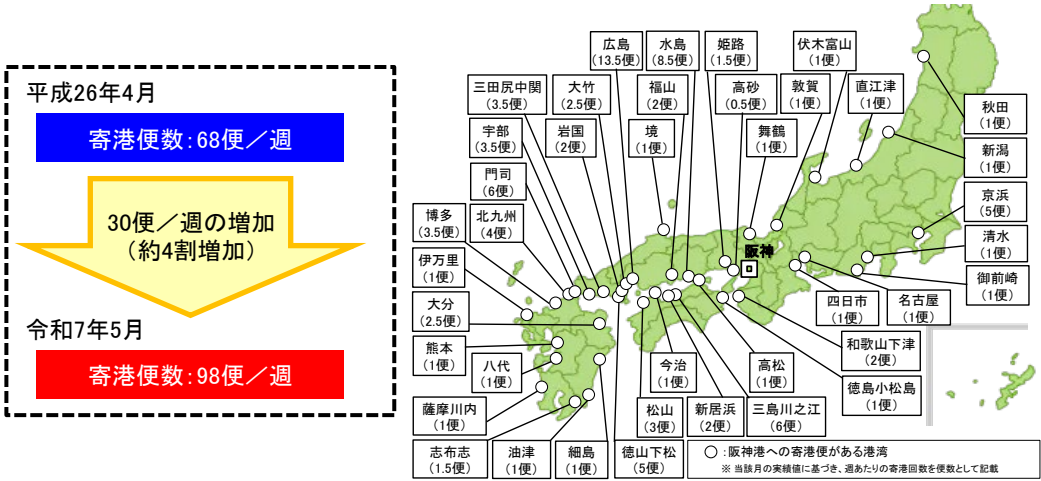
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化(コンテナ貨物取扱量と船舶寄港状況)

- コンテナ取扱量は、横ばいで推移している。
- 国際コンテナ戦略港湾の集貨施策により、国際フィーダー航路の寄港便数は98便/週にまで増加し、国際フィーダーコンテナの集貨機能は増強。
- 平成22年4月から神戸港で水深16m岸壁が供用開始され、8,000TEU級以上の国際基幹航路(欧州・北米等)のコンテナ船をはじめ、約80便/週が入港。

【神戸港におけるコンテナ取扱貨物量の推移】



【阪神港における国際フィーダー航路数】



4. 事業の必要性等に関する視点

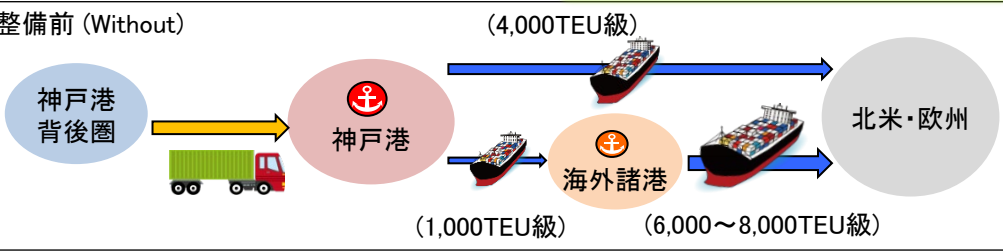
(2) 事業の整備効果(船舶の大型化、輸送距離の縮小、震災直後の輸送コスト削減効果)

- ①6,000～8,000TEU積みの大型コンテナ船の寄港が可能となり、輸送コストを削減。
- ②神戸港背後圏の外貿コンテナ貨物需要の増大に対応でき、陸上輸送コストを削減。
- ③大規模地震発生時のコンテナ貨物の取り扱いが可能となり、代替港利用による輸送コスト増大を回避。

①外貿コンテナ貨物(北米・欧州航路)の主な輸送形態イメージ

※1

輸送コスト削減便益：399億円/年



船舶の大型化等によるコスト削減
輸送ルートの変更

②外貿コンテナ貨物(その他航路)の輸送形態イメージ

※1

輸送コスト削減便益：495億円/年

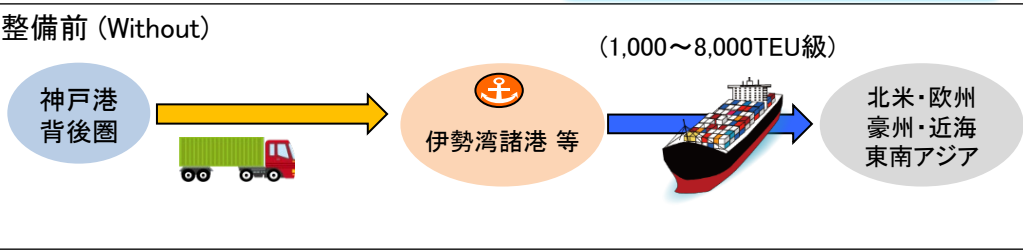


輸送ルートの変更

③大規模地震発生時の輸送形態イメージ

※1 ※2

輸送コスト削減便益：38億円/年



震災後の輸送コストの増大回避
施設被害の回避

※1 便益額は、ローカル貨物の内、近畿2府4県コンテナ詰取場所コンテナ貨物を対象に推計
※2 地震発生確率考慮後の単年度の便益額(最大)

→ 海上輸送
→ 陸上輸送

輸送コスト削減便益	単年度便益
①外貿コンテナ貨物(北米・欧州航路)	399億円/年
②外貿コンテナ貨物(その他航路)	495億円/年
③大規模地震発生時	38億円/年
合計	932億円/年

4. 事業の必要性等に関する視点

(2) 事業の整備効果(貨幣換算しない定性的な効果)

1. 国際競争力の強化

- ・ コンテナ船の大型化等により基幹航路の絞り込みが進む中、大水深・高規格コンテナターミナルの整備により、国際基幹航路寄港の維持・拡大に寄与。
- ・ 基幹航路による直航サービスを確保することで、サプライチェーンの強靱性を高め、荷主の利便性を確保。
- ・ 震災時における幹線貨物輸送機能が確保され、背後圏企業の国際競争力低下が回避される。

2. 物流の効率化

- ・ 複数バースを一体的に利用できる大規模なターミナルの整備により、国際基幹航路と国内外フィーダー航路等の円滑な積み替え機能を確保し、国内及び国際トランシップの集貨に寄与。

3. 物流の2024年問題への対応

- ・ トラックドライバーの需給が厳しくなることが想定される中、大規模なターミナルにおいて、内貿コンテナ船、内航フェリー、RORO航路といった多様な輸送モードを活用したモーダルシフトを推進。

4. 産業・地域経済への波及効果

- ・ 港湾周辺に物流関連産業、製造業、流通拠点が集積。産業基盤の高度化と地域経済の活性化を促進。
- ・ 港湾オペレーションや関連産業での新規雇用が生まれ、地元経済にも還元される。

5. 環境負荷の低減

- ・ 陸上輸送距離の短縮、コンテナターミナルゲート処理の迅速化により、輸送あたりのCO₂及びNO_x排出量を削減。
(CO₂:9,446トン-C/年、NO_x:22.4トン/年)
- ・ コンテナターミナルにおいて水素等を電源とした荷役機械の導入による港湾の脱炭素化を実現。

4. 事業の必要性等に関する視点

(3) 事業の投資効果

■ 便益(B)
「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」(令和6年6月 国土交通省港湾局)に基づき、「輸送コストの削減」、「震災後の輸送コストの削減」、「残存価値」について、本プロジェクトの整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)
本プロジェクト整備に係る総事業費および管理運営費を算出。

■ 全体事業

便益 (B)	輸送コスト削減便益	耐震便益	残存価値	総便益	費用便益比 (B/C)
	39,656.8億円	459.6億円	542.8億円	40,659億円	
費用 (C)	事業費		管理運営費	総費用	2.9
	13,300.9億円		878.5億円	14,179億円	

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある
※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

■ 残事業

便益 (B)	輸送コスト削減便益	耐震便益	残存価値	総便益	費用便益比 (B/C)
	3,309.9億円	459.6億円	76.8億円	3,846億円	
費用 (C)	事業費		管理運営費	総費用	4.8
	444.1億円		356.5億円	801億円	

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある
※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

■ 検討条件

基準年
検討期間
現在価値算出のための社会的割引率
推計に用いた資料
適用した費用便益分析マニュアル
事業費
管理運営費

: 令和7年度
: 供用開始後50年間
: 4%
: 港湾統計
: 令和6年6月版
: 5,307億円
: 17.6億円/年

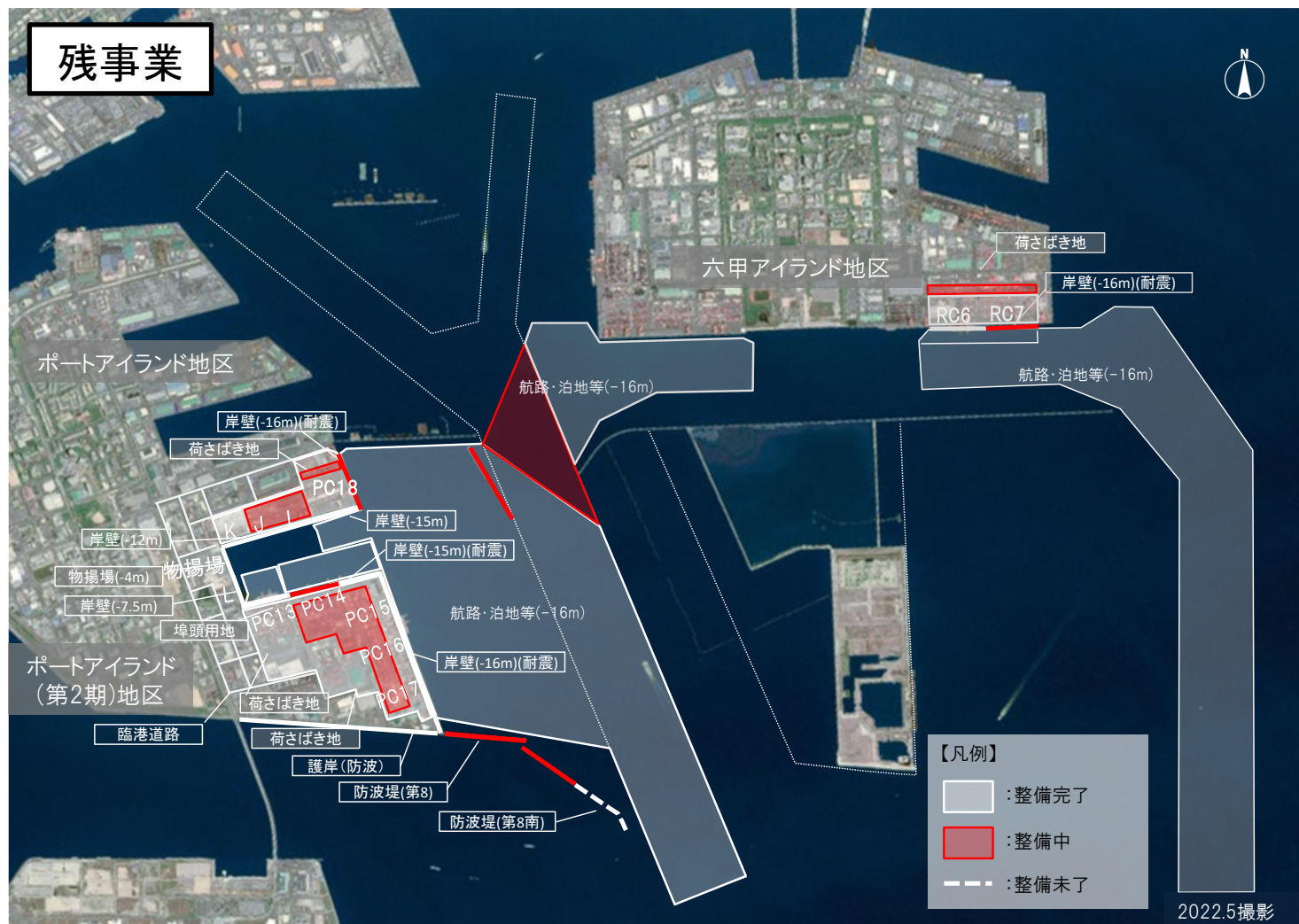
※計算期間50年間に発生する更新費、維持管理費用を計算期間で除した

■ 参考比較

事業全体
費用便益費(B/C): 3.4(社会的割引率2%)
費用便益費(B/C): 3.8(社会的割引率1%)
残事業
費用便益費(B/C): 5.9(社会的割引率2%)
費用便益費(B/C): 6.6(社会的割引率1%)

5. 事業進捗の見込みの視点

- 外資コンテナを取り扱う耐震強化岸壁 PC15-17、PC18、RC6-7は水深16mで供用済みである。
- 荷さばき地等が残事業であり、全体の進捗率は約90%まで進んでいる。
- 令和13年度完成に向け、事業進捗を図る。



6. 関係自治体の意見

■ 神戸市長

令和7年11月20日付 神港物第116号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業は、国際コンテナ戦略港湾としての神戸港において重要な事業であり、事業継続が妥当と考えます。

今後の事業継続にあたっては、効果的な事業手法の検討やコスト縮減の徹底をお願いします。

7. 対応方針(原案)

1. 事業の必要性等に関する視点

- 多方面・多頻度の直航サービスが充実すると共に、外貿コンテナ貨物の需要増加に対応が可能となり、海上輸送コスト及び陸上輸送コストが削減される。
- 大規模地震発生時においても外貿コンテナ貨物の取り扱いが可能となり、代替港利用による輸送コストの増大を回避できる。
- 事業費及び事業期間が前回から変更となるものの、本プロジェクトが必要な状況は変化していない。
- 費用便益比(B/C)は、全体事業で2.9、残事業で4.8である。

2. 事業進捗の見込みの視点

- 本プロジェクトはこれまでに約90%まで整備が進んでいる。残る施設整備についても確実に推進し、事業進捗を図る予定。



神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業は、事業の必要性等に関する視点、事業進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



No. 3

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和7年度第4回

神戸港 国際海上コンテナターミナル整備事業 【再評価】

(計算結果等参考資料)

令和7年12月
近畿地方整備局

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析

費用便益分析シート(割引前)

(億円)															
		割 引 前													
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)	
1987		0.2		0.2										-0.2	
1988		21.5		21.5										-21.5	
1989		36.0		36.0										-36.0	
1990		28.3		28.3										-28.3	
1991		98.9		98.9										-98.9	
1992		205.5		205.5										-205.5	
1993		185.3		185.3										-185.3	
1994		221.6		221.6										-221.6	
1995		580.8		580.8										-580.8	
1996		253.3	2.5	255.8		38.4							38.4	-217.5	
1997		83.3	3.1	86.4		54.1							54.1	-32.4	
1998		92.5	3.2	95.7		112.2							112.2	16.5	
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5							120.2	67.5	
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9							109.8	62.2	
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5							87.9	-32.0	
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4							161.3	45.1	
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9							301.8	266.1	
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3							376.1	357.4	
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3							482.1	468.5	
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8							535.2	501.3	
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9							559.2	410.8	
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3							574.9	479.6	
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4							446.4	-302.9	
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8							529.0	477.7	
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8							543.4	357.9	
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5							588.6	309.2	
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7							602.6	284.5	
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9							608.5	326.9	
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0							618.0	329.4	
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3							667.6	366.3	
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7							710.0	462.5	
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5						853.4	742.7	
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8						763.9	612.1	
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9						691.9	627.2	
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6						695.9	558.3	
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8						677.0	516.4	
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2						672.2	530.3	
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4						670.9	477.8	
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4						721.5	547.3	
2026	12	34.2	10.0	44.2	112.1	591.0	18.4						721.5	677.3	
2027	13	119.9	43.2	163.1	135.8	563.6	90.1						789.4	626.3	
2028	14	83.5	44.5	128.0	139.1	536.1	90.1						765.3	637.3	
2029	15	82.3	4.6	86.9	142.5	508.6	90.1						741.2	654.3	
2030	16	107.6	4.6	112.1	145.9	481.2	90.1						717.1	605.0	
2031	17	85.2	4.6	89.7	149.2	453.7	90.1						693.0	603.2	
2032	18		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.7	8.7	6.8		938.9	934.3	
2033	19		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.3	8.5	6.7		938.2	933.7	
2034	20		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6		937.5	933.0	
2035	21		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5		936.7	898.3	
2036	22		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	27.7	8.1	6.4		935.8	931.2	
2037	23		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	27.0	7.9	6.2		934.8	924.5	
2038	24		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	26.3	7.7	6.1		933.8	914.6	
2039	25		27.7	27.7	315.0	426.2	84.2	68.3	25.6	7.5	5.9		932.7	905.0	
2040	26		42.5	42.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.8	7.2	5.7		931.5	889.0	
2041	27		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.1	7.0	5.5		930.3	889.8	
2042	28		36.8	36.8	315.0	426.2	84.2	68.3	23.3	6.8	5.4		929.1	892.3	
2043	29		13.8	13.8	315.0	426.2	84.2	68.3	22.4	6.5	5.2		914.9	877.1	
2044	30		11.7	11.7	315.0	426.2	84.2	68.3	21.6	6.3	5.0		926.6	914.9	
2045	31		8.9	8.9	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8		925.3	916.4	
2046	32		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6		924.1	916.1	
2047	33		25.9	25.9	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4		922.8	897.0	
2048	34		17.6	17.6	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.3	4.2		921.5	903.9	
2049	35		23.5	23.5	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0		920.3	896.8	
2050	36		26.7	26.7	315.0	426.2	84.2	68.3	16.7	4.9	3.8		919.1	892.3	
2051	37		14.8	14.8	315.0	426.2	84.2	68.3	15.9	4.6	3.7		917.9	903.1	
2052	38		10.0	10.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.1	4.4	3.5		916.7	906.7	
2053	39		43.2	43.2	315.0	426.2	84.2	68.3	14.3	4.2	3.3		915.5	872.3	
2054	40		44.5	44.5	315.0	426.2	84.2	68.3	13.6	4.0	3.1		914.4	869.9	
2055	41		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.9	3.8	3.0		913.3	908.8	
2056	42		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.2	3.6	2.8		912.3	907.7	
2057	43		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.5	3.4	2.7		911.2	906.7	
2058	44		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.9	3.2	2.5		910.3	905.7	
2059	45		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.2	3.0	2.4		909.3	904.8	
2060	46		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.6	2.8	2.2		908.4	903.8	
2061	47		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	9.1	2.6	2.1		907.5	869.1	
2062	48		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	8.5	2.5	2.0		902.7	892.0	
2063	49		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	8.0	2.3	1.8		905.9	895.6	
2064	50		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	7.5	2.2	1.7	2,505.9	3,411.0	3,391.9	

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（需要-10%）

費用便益分析シート（割引前）

																(億円)	
		割 引 前															
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の機能拡充による輸送コストの削減	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)			
1987		0.2		0.2										-0.2			
1988		21.5		21.5										-21.5			
1989		36.0		36.0										-36.0			
1990		28.3		28.3										-28.3			
1991		98.9		98.9										-98.9			
1992		205.5		205.5										-205.5			
1993		185.3		185.3										-185.3			
1994		221.6		221.6										-221.6			
1995		580.8		580.8										-580.8			
1996		253.3	2.5	255.8		38.4							38.4	-217.5			
1997		83.3	3.1	86.4		54.1							54.1	-32.4			
1998		92.5	3.2	95.7		112.2							112.2	16.5			
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5							120.2	67.5			
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9							109.8	62.2			
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5							87.9	-32.0			
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4							161.3	45.1			
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9							301.8	266.1			
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3							376.1	357.4			
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3							482.1	468.5			
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8							535.2	501.3			
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9							559.2	410.8			
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3							574.9	479.6			
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4							446.4	-302.9			
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8							529.0	477.7			
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8							543.4	357.9			
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5							588.6	309.2			
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7							602.6	284.5			
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9							608.5	326.9			
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0							618.0	329.4			
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3							667.6	366.3			
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7							710.0	462.5			
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5						853.4	742.7			
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8						763.9	612.1			
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9						691.9	627.2			
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6						695.9	558.3			
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8						677.0	516.4			
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2						672.2	530.3			
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4						670.9	477.8			
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4						721.5	547.3			
2026	12	34.2	10.0	44.2	100.9	531.9	16.5						649.4	605.2			
2027	13	119.9	43.2	163.1	122.2	507.2	81.1						710.5	547.3			
2028	14	83.5	44.5	128.0	125.2	482.5	81.1						688.8	560.8			
2029	15	82.3	4.6	86.9	128.3	457.8	81.1						667.1	580.2			
2030	16	107.6	4.6	112.1	131.3	433.0	81.1						645.4	533.3			
2031	17	85.2	4.6	89.7	134.3	408.3	81.1						623.7	533.9			
2032	18		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	26.7	7.8	6.2		845.0	840.5			
2033	19		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	26.3	7.7	6.1		844.4	839.9			
2034	20		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	25.9	7.6	6.0		843.8	839.2			
2035	21		38.5	38.5	283.5	383.6	75.7	61.5	25.4	7.4	5.9		843.1	804.6			
2036	22		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	24.9	7.3	5.7		842.2	837.7			
2037	23		10.3	10.3	283.5	383.6	75.7	61.5	24.3	7.1	5.6		841.3	831.1			
2038	24		19.2	19.2	283.5	383.6	75.7	61.5	23.7	6.9	5.5		840.4	821.2			
2039	25		27.7	27.7	283.5	383.6	75.7	61.5	23.0	6.7	5.3		839.4	811.7			
2040	26		42.5	42.5	283.5	383.6	75.7	61.5	22.4	6.5	5.2		838.4	795.9			
2041	27		40.5	40.5	283.5	383.6	75.7	61.5	21.7	6.3	5.0		837.3	796.8			
2042	28		36.8	36.8	283.5	383.6	75.7	61.5	20.9	6.1	4.8		836.2	799.4			
2043	29		13.8	13.8	283.5	383.6	75.7	61.5	20.2	5.9	4.6		835.1	801.1			
2044	30		11.7	11.7	283.5	383.6	75.7	61.5	19.5	5.7	4.5		834.0	822.3			
2045	31		8.9	8.9	283.5	383.6	75.7	61.5	18.7	5.5	4.3		832.8	823.9			
2046	32		8.0	8.0	283.5	383.6	75.7	61.5	18.0	5.2	4.1		831.7	823.7			
2047	33		25.9	25.9	283.5	383.6	75.7	61.5	17.2	5.0	4.0		830.5	804.7			
2048	34		17.6	17.6	283.5	383.6	75.7	61.5	16.5	4.8	3.8		829.4	811.8			
2049	35		23.5	23.5	283.5	383.6	75.7	61.5	15.7	4.6	3.6		828.3	804.8			
2050	36		26.7	26.7	283.5	383.6	75.7	61.5	15.0	4.4	3.5		827.2	800.4			
2051	37		14.8	14.8	283.5	383.6	75.7	61.5	14.3	4.2	3.3		826.1	811.3			
2052	38		10.0	10.0	283.5	383.6	75.7	61.5	13.6	4.0	3.1		825.0	815.0			
2053	39		43.2	43.2	283.5	383.6	75.7	61.5	12.9	3.8	3.0		824.0	780.8			
2054	40		44.5	44.5	283.5	383.6	75.7	61.5	12.2	3.6	2.8		823.0	778.5			
2055	41		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	11.6	3.4	2.7		822.0	817.4			
2056	42		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	11.0	3.2	2.5		821.0	816.5			
2057	43		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	10.4	3.0	2.4		820.1	815.6			
2058	44		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	9.8	2.9	2.3		819.2	814.7			
2059	45		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	9.2	2.7	2.1		818.4	813.8			
2060	46		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	8.7	2.5	2.0		817.6	813.0			
2061	47		38.5	38.5	283.5	383.6	75.7	61.5	8.2	2.4	1.9		816.8	778.3			
2062	48		4.6	4.6	283.5	383.6	75.7	61.5	7.7	2.2	1.8		816.0	811.1			
2063	49		10.3	10.3	283.5	383.6	75.7	61.5	7.2	2.1	1.7		815.3	810.3			
2064	50		19.2	19.2	283.5	383.6	75.7	61.5	6.8	2.0	1.6	2,255.3	3,070.0	3,050.8			

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（需要+10%）

費用便益分析シート（割引前）

年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用 (C)	割 引 前								総便益 (B)	純便益 (B-C)
					P1-船舶の 大型化便益	P1-コンテナ 機能拡充によ る輸送コスト の削減	R1-船舶の 大型化便益	R1-コンテナ 機能拡充によ る輸送コスト の削減	P1-地震時 輸送コスト の削減	R1-地震時 輸送コスト の削減	R1-施設被 害回避	残存価値		
1987		0.2		0.2									-0.2	
1988		21.5		21.5									-21.5	
1989		36.0		36.0									-36.0	
1990		28.3		28.3									-28.3	
1991		98.9		98.9									-98.9	
1992		205.5		205.5									-205.5	
1993		185.3		185.3									-185.3	
1994		221.6		221.6									-221.6	
1995		580.8		580.8									-580.8	
1996		253.3	2.5	255.8		38.4						38.4	-217.5	
1997		83.3	3.1	86.4		54.1						54.1	-32.4	
1998		92.5	3.2	95.7		112.2						112.2	16.5	
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5						120.2	67.5	
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9						109.8	62.2	
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5						87.9	-32.0	
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4						161.3	45.1	
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9						301.8	266.1	
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3						376.1	357.4	
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3						482.1	468.5	
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8						535.2	501.3	
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9						559.2	410.8	
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3						574.9	479.6	
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4						446.4	-302.9	
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8						529.0	477.7	
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8						543.4	357.9	
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5						588.6	309.2	
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7						602.6	284.5	
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9						608.5	326.9	
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0						618.0	329.4	
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3						667.6	366.3	
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7						710.0	462.5	
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5					853.4	742.7	
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8					763.9	612.1	
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9					691.9	627.2	
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6					695.9	558.3	
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8					677.0	516.4	
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2					672.2	530.3	
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4					670.9	477.8	
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4					721.5	547.3	
2026	12	34.2	10.0	44.2	123.4	650.1	20.2					793.7	749.5	
2027	13	119.9	43.2	163.1	149.4	619.9	99.1					868.4	705.2	
2028	14	83.5	44.5	128.0	153.1	589.7	99.1					841.8	713.9	
2029	15	82.3	4.6	86.9	156.8	559.5	99.1					815.3	728.4	
2030	16	107.6	4.6	112.1	160.5	529.3	99.1					788.8	676.7	
2031	17	85.2	4.6	89.7	164.1	499.1	99.1					762.3	672.5	
2032	18		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	32.6	9.5	7.5	1,032.8	1,028.2	
2033	19		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	32.2	9.4	7.4	1,032.1	1,027.5	
2034	20		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	31.7	9.2	7.3	1,031.3	1,026.7	
2035	21		38.5	38.5	346.5	468.8	92.6	75.2	31.1	9.1	7.2	1,030.4	991.9	
2036	22		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	30.4	8.9	7.0	1,029.4	1,024.8	
2037	23		10.3	10.3	346.5	468.8	92.6	75.2	29.7	8.7	6.8	1,028.3	1,018.0	
2038	24		19.2	19.2	346.5	468.8	92.6	75.2	29.0	8.4	6.7	1,027.2	1,008.0	
2039	25		27.7	27.7	346.5	468.8	92.6	75.2	28.2	8.2	6.5	1,025.9	998.2	
2040	26		42.5	42.5	346.5	468.8	92.6	75.2	27.3	8.0	6.3	1,024.7	982.1	
2041	27		40.5	40.5	346.5	468.8	92.6	75.2	26.5	7.7	6.1	1,023.4	982.9	
2042	28		36.8	36.8	346.5	468.8	92.6	75.2	25.6	7.5	5.9	1,022.0	985.2	
2043	29		13.8	13.8	346.5	468.8	92.6	75.2	24.7	7.2	5.7	1,020.6	986.9	
2044	30		11.7	11.7	346.5	468.8	92.6	75.2	23.8	6.9	5.5	1,019.3	1,007.6	
2045	31		8.9	8.9	346.5	468.8	92.6	75.2	22.9	6.7	5.3	1,017.9	1,009.0	
2046	32		8.0	8.0	346.5	468.8	92.6	75.2	21.9	6.4	5.1	1,016.5	1,008.5	
2047	33		25.9	25.9	346.5	468.8	92.6	75.2	21.0	6.1	4.8	1,015.1	999.2	
2048	34		17.6	17.6	346.5	468.8	92.6	75.2	20.1	5.9	4.6	1,013.7	996.1	
2049	35		23.5	23.5	346.5	468.8	92.6	75.2	19.2	5.6	4.4	1,012.3	988.9	
2050	36		26.7	26.7	346.5	468.8	92.6	75.2	18.3	5.4	4.2	1,011.0	984.3	
2051	37		14.8	14.8	346.5	468.8	92.6	75.2	17.5	5.1	4.0	1,009.7	994.8	
2052	38		10.0	10.0	346.5	468.8	92.6	75.2	16.6	4.8	3.8	1,008.4	998.4	
2053	39		43.2	43.2	346.5	468.8	92.6	75.2	15.8	4.6	3.6	1,007.1	963.9	
2054	40		44.5	44.5	346.5	468.8	92.6	75.2	15.0	4.4	3.4	1,005.8	961.4	
2055	41		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	14.2	4.1	3.3	1,004.7	1,000.1	
2056	42		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	13.4	3.9	3.1	1,003.5	998.9	
2057	43		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	12.7	3.7	2.9	1,002.4	997.8	
2058	44		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	12.0	3.5	2.8	1,001.3	996.7	
2059	45		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	11.3	3.3	2.6	1,000.2	995.7	
2060	46		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	10.6	3.1	2.4	999.2	994.7	
2061	47		38.5	38.5	346.5	468.8	92.6	75.2	10.0	2.9	2.3	998.3	959.8	
2062	48		4.6	4.6	346.5	468.8	92.6	75.2	9.4	2.7	2.2	997.4	992.8	
2063	49		10.3	10.3	346.5	468.8	92.6	75.2	8.8	2.6	2.0	996.5	986.2	
2064	50		19.2	19.2	346.5	468.8	92.6	75.2	8.3	2.4	1.9	2,756.5	3,752.1	3,733.0
合 計		6,510.1	1,031.1	7,541.2	13,159.9	32,351.3	3,895.0	2,480.0	671.3	195.7	164.5	2,756.5	55,664.1	48,122.9

費用便益分析シート（割引後）

EIR=	11.2%	NPV=	28,249 億円
B/C=	2.99		

年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用 (C)	割 引 後								総便益 (B)	純便益 (B-C)
						P1-船舶の 大型化便益	P1-コンテナ 機能拡充によ る輸送コスト の削減	R1-船舶の 大型化便益	R1-コンテナ 機能拡充によ る輸送コスト の削減	P1-地震時 輸送コスト の削減	R1-地震時 輸送コスト の削減	R1-施設被 害回避	残存価値		
1987			4.44	0.8	0.8									-0.8	
1988			4.27	91.9	91.9									-91.9	
1989			4.10	147.9	147.9									-147.9	
1990			3.95	111.5	111.5									-111.5	
1991			3.79	375.4	375.4									-375.4	
1992			3.65	749.6	749.6									-749.6	
1993			3.51	650.2	650.2									-650.2	
1994			3.37	747.4	747.4									-747.4	
1995			3.24	1,883.7	1,883.7									-1,883.7	
1996			3.12	790.1	797.8				119.6				119.6	-678.2	
1997			3.00	249.9	9.3				259.2				162.1	-97.1	
1998			2.88	266.7	9.1				275.8				323.5	47.6	
1999			2.77	137.2	8.8			24.1	309.0				333.2	187.1	
2000			2.67	118.2	8.5			31.6	261.0				292.6	165.9	
2001			2.56	299.1	8.3			307.4	34.3				191.1	-82.1	
2002			2.46	278.3	8.1			286.4	36.7				397.6	111.2	
2003			2.37	76.9	7.7			84.6	42.3				715.2	630.6	
2004			2.28	35.5	7.3			42.7	45.1				857.0	814.3	
2005															

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（建設費+10%）

費用便益分析シート（割引前）

															(億円)	
		割 引 前														
施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)			
年度																
1987		0.2		0.2										-0.2		
1988		21.5		21.5										-21.5		
1989		36.0		36.0										-36.0		
1990		28.3		28.3										-28.3		
1991		98.9		98.9										-98.9		
1992		205.5		205.5										-205.5		
1993		185.3		185.3										-185.3		
1994		221.6		221.6										-221.6		
1995		580.8		580.8										-580.8		
1996		253.3	2.5	255.8		38.4						38.4		-217.5		
1997		83.3	3.1	86.4		54.1						54.1		-32.4		
1998		92.5	3.2	95.7		112.2						112.2		16.5		
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5						120.2		67.5		
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9						109.8		62.2		
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5						87.9		-32.0		
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4						161.3		45.1		
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9						301.8		266.1		
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3						376.1		357.4		
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3						482.1		468.5		
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8						535.2		501.3		
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9						559.2		410.8		
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3						574.9		479.6		
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4						446.4		-302.9		
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8						529.0		477.7		
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8						543.4		357.9		
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5						588.6		309.2		
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7						602.6		284.5		
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9						608.5		326.9		
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0						618.0		329.4		
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3						667.6		366.3		
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7						710.0		462.5		
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5					853.4		742.7		
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8					763.9		612.1		
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9					691.9		627.2		
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6					695.9		558.3		
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8					677.0		516.4		
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2					672.2		530.3		
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4					670.9		477.8		
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4					721.5		547.3		
2026	12	37.7	11.0	48.7	112.1	591.0	18.4					721.5		672.9		
2027	13	131.9	47.5	179.5	135.8	563.6	90.1					789.4		610.0		
2028	14	91.8	48.9	140.8	139.1	536.1	90.1					765.3		624.5		
2029	15	90.6	5.0	95.6	142.5	508.6	90.1					741.2		645.6		
2030	16	118.3	5.0	123.3	145.9	481.2	90.1					717.1		593.8		
2031	17	93.7	5.0	98.7	149.2	453.7	90.1					693.0		594.3		
2032	18		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	29.7	8.7	6.8	938.9		933.9		
2033	19		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	29.3	8.5	6.7	938.2		933.2		
2034	20		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6	937.5		932.5		
2035	21		42.3	42.3	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5	936.7		894.4		
2036	22		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	27.7	8.1	6.4	935.8		930.8		
2037	23		11.3	11.3	315.0	426.2	84.2	68.3	27.0	7.9	6.2	934.8		923.5		
2038	24		21.1	21.1	315.0	426.2	84.2	68.3	26.3	7.7	6.1	933.8		912.7		
2039	25		30.5	30.5	315.0	426.2	84.2	68.3	25.6	7.5	5.9	932.7		902.2		
2040	26		46.8	46.8	315.0	426.2	84.2	68.3	24.8	7.2	5.7	931.5		884.7		
2041	27		44.6	44.6	315.0	426.2	84.2	68.3	24.1	7.0	5.5	930.3		885.8		
2042	28		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	23.3	6.8	5.4	929.1		888.6		
2043	29		15.1	15.1	315.0	426.2	84.2	68.3	22.4	6.5	5.2	927.9		912.7		
2044	30		12.8	12.8	315.0	426.2	84.2	68.3	21.6	6.3	5.0	926.6		913.8		
2045	31		9.8	9.8	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8	925.3		915.5		
2046	32		8.7	8.7	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6	924.1		915.3		
2047	33		28.4	28.4	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4	922.8		894.4		
2048	34		19.4	19.4	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.3	4.2	921.5		902.1		
2049	35		25.8	25.8	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0	920.3		894.5		
2050	36		29.4	29.4	315.0	426.2	84.2	68.3	16.7	4.9	3.8	919.1		889.7		
2051	37		16.3	16.3	315.0	426.2	84.2	68.3	15.9	4.6	3.7	917.9		901.6		
2052	38		11.0	11.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.1	4.4	3.5	916.7		905.7		
2053	39		47.5	47.5	315.0	426.2	84.2	68.3	14.3	4.2	3.3	915.5		868.0		
2054	40		48.9	48.9	315.0	426.2	84.2	68.3	13.6	4.0	3.1	914.4		865.5		
2055	41		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	12.9	3.8	3.0	913.3		908.3		
2056	42		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	12.2	3.6	2.8	912.3		907.3		
2057	43		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	11.5	3.4	2.7	911.2		906.2		
2058	44		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	10.9	3.2	2.5	910.3		905.3		
2059	45		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	10.2	3.0	2.4	909.3		904.3		
2060	46		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	9.6	2.8	2.2	908.4		903.4		
2061	47		42.3	42.3	315.0	426.2	84.2	68.3	9.1	2.6	2.1	907.5		865.2		
2062	48		5.0	5.0	315.0	426.2	84.2	68.3	8.5	2.5	2.0	906.7		901.7		
2063	49		11.3	11.3	315.0	426.2	84.2	68.3	8.0	2.3	1.8	905.9		884.6		
2064	50		21.1	21.1	315.0	426.2	84.2	68.3	7.5	2.2	1.7	2,505.9	3,411.0	3,389.9		
合 計		6,561.3	1,100.4	7,661.7	12,037.9	30,631.4	3,570.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	2,505.9	51,928.6	44,266.9		

費用便益分析シート（割引後）

EIR= 11.1% NPV= 28,400 億円
B/C= 2.85

割引後														(億円)	
年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987			4.44	0.8	0.8										-0.8
1988			4.27	91.9	91.9										-91.9
1989			4.10	147.9	147.9										-147.9
1990			3.95	111.5	111.5										-111.5
1991			3.79	375.4	375.4										-375.4
1992			3.65	749.6	749.6										-749.6
1993			3.51	650.2	650.2										-650.2
1994			3.37	747.4	747.4										-747.4
1995			3.24	1,883.7	1,883.7										-1,883.7
1996			3.12	790.1	7.8	797.8			119.6					119.6	-678.2
1997			3.00	249.9	9.3	259.2			162.1					162.1	-97.1
1998			2.88	266.7	9.1	275.8			323.5					323.5	47.6
1999			2.77	137.2	8.8	146.1	24.1		309.0					333.2	187.1
2000			2.67	118.2	8.5	126.7	31.6		261.0					292.6	165.9
2001			2.56	299.1	8.3	307.4	34.3		191.1					225.3	-82.1
2002			2.46	278.3	8.1	286.4	36.7		360.8					397.6	111.2
2003			2.37	76.9	7.7	84.6	42.3		672.8					715.2	630.6
2004			2.28	35.5	7.3	42.7	45.1		811.9					857.0	814.3
2005			2.19	22.9	6.9	29.8	52.1		1,004.3					1,056.4	1,026.6
2006			2.11	64.9	6.6	71.5	59.9		1,067.8					1,127.6	1,056.2
2007			2.03	294.4	6.2	300.6	63.4		1,069.4					1,132.8	832.3
2008			1.95												

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（建設費-10%）

費用便益分析シート（割引前）

割引前													(億円)	
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987		0.2		0.2										-0.2
1988		21.5		21.5										-21.5
1989		36.0		36.0										-36.0
1990		28.3		28.3										-28.3
1991		98.9		98.9										-98.9
1992		205.5		205.5										-205.5
1993		185.3		185.3										-185.3
1994		221.6		221.6										-221.6
1995		580.8		580.8										-580.8
1996		253.3	2.5	255.8		38.4							38.4	-217.5
1997		83.3	3.1	86.4		54.1							54.1	-32.4
1998		92.5	3.2	95.7		112.2							112.2	16.5
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5							120.2	67.5
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9							109.8	62.2
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5							87.9	-32.0
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4							161.3	45.1
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9							301.8	266.1
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3							376.1	357.4
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3							482.1	468.5
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8							535.2	501.3
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9							559.2	410.8
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3							574.9	479.6
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4							446.4	-302.9
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8							529.0	477.7
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8							543.4	357.9
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5							588.6	309.2
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7							602.6	284.5
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9							608.5	326.9
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0							618.0	329.4
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3							667.6	366.3
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7							710.0	462.5
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5						853.4	742.7
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8						763.9	612.1
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9						691.9	627.2
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6						695.9	558.3
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8						677.0	516.4
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2						672.2	530.3
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4						670.9	477.8
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4						721.5	547.1
2026	12	30.8	9.0	39.8	112.1	591.0	18.4						721.5	681.7
2027	13	107.9	38.9	146.8	135.8	563.6	90.1						789.4	642.6
2028	14	75.1	40.0	115.2	139.1	536.1	90.1						765.3	650.1
2029	15	74.1	4.1	78.2	142.5	508.6	90.1						741.2	663.0
2030	16	96.8	4.1	100.9	145.9	481.2	90.1						717.1	616.2
2031	17	76.7	4.1	80.8	149.2	453.7	90.1						693.0	612.2
2032	18		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	29.7	8.7	6.8		938.9	934.8
2033	19		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	29.3	8.5	6.7		938.2	934.2
2034	20		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6		937.5	933.4
2035	21		34.6	34.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5		936.7	902.1
2036	22		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	27.7	8.1	6.4		935.8	931.7
2037	23		9.2	9.2	315.0	426.2	84.2	68.3	27.0	7.9	6.2		934.8	925.6
2038	24		17.3	17.3	315.0	426.2	84.2	68.3	26.3	7.7	6.1		933.8	916.5
2039	25		24.9	24.9	315.0	426.2	84.2	68.3	25.6	7.5	5.9		932.7	907.7
2040	26		38.3	38.3	315.0	426.2	84.2	68.3	24.8	7.2	5.7		931.5	893.2
2041	27		36.5	36.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.1	7.0	5.5		930.3	883.9
2042	28		33.1	33.1	315.0	426.2	84.2	68.3	23.3	6.8	5.4		929.1	886.0
2043	29		12.4	12.4	315.0	426.2	84.2	68.3	22.4	6.5	5.2		927.9	915.5
2044	30		10.5	10.5	315.0	426.2	84.2	68.3	21.6	6.3	5.0		926.6	915.0
2045	31		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8		925.3	917.3
2046	32		7.2	7.2	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6		924.1	916.9
2047	33		23.3	23.3	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4		922.8	899.5
2048	34		15.9	15.9	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.3	4.2		921.5	905.7
2049	35		21.1	21.1	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0		920.3	899.2
2050	36		24.1	24.1	315.0	426.2	84.2	68.3	16.7	4.9	3.8		919.1	895.0
2051	37		13.3	13.3	315.0	426.2	84.2	68.3	15.9	4.6	3.7		917.9	904.5
2052	38		9.0	9.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.1	4.4	3.5		916.7	907.7
2053	39		38.9	38.9	315.0	426.2	84.2	68.3	14.3	4.2	3.3		915.5	876.6
2054	40		40.0	40.0	315.0	426.2	84.2	68.3	13.6	4.0	3.1		914.4	874.4
2055	41		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	12.9	3.8	3.0		913.3	909.2
2056	42		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	12.2	3.6	2.8		912.3	908.2
2057	43		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	11.5	3.4	2.7		911.2	907.2
2058	44		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	10.9	3.2	2.5		910.3	906.2
2059	45		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	10.2	3.0	2.4		909.3	905.2
2060	46		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	9.6	2.8	2.2		908.4	904.3
2061	47		34.6	34.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.1	2.6	2.1		907.5	872.9
2062	48		4.1	4.1	315.0	426.2	84.2	68.3	8.5	2.5	2.0		906.7	902.6
2063	49		9.2	9.2	315.0	426.2	84.2	68.3	8.0	2.3	1.8		905.9	886.7
2064	50		17.3	17.3	315.0	426.2	84.2	68.3	7.5	2.2	1.7	2,505.9	3,411.0	3,393.8

合 計 6,458.8 961.7 7,420.5 12,037.9 30,631.4 3,570.2 2,254.6 610.2 177.9 140.4 2,505.9 51,928.6 44,508.1

費用便益分析シート（割引後）

割引率= 11.1% NPV= 26,580 億円
B/C= 2.88

															(億円)	
		割 引 後														
年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)	
1987			4.44	0.8	0.8										-0.8	
1988			4.27	91.9	91.9										-91.9	
1989			4.10	147.9	147.9										-147.9	
1990			3.95	111.5	111.5										-111.5	
1991			3.79	375.4	375.4										-375.4	
1992			3.65	749.6	749.6										-749.6	
1993			3.51	650.2	650.2										-650.2	
1994			3.37	747.4	747.4										-747.4	
1995			3.24	1,883.7	1,883.7										-1,883.7	
1996			3.12	790.1	7.8	797.8		119.6						119.6	-678.2	
1997			3.00	249.9	9.3	259.2		162.1						162.1	-97.1	
1998			2.88	266.7	9.1	275.8		323.5						323.5	47.6	
1999			2.77	137.2	8.8	146.1	24.1	309.0						333.2	187.1	
2000			2.67	118.2	8.5	126.7	31.6	261.0						292.6	165.9	
2001			2.56	299.1	8.3	307.4	34.3	191.1						225.3	-82.1	
2002			2.46	278.3	8.1	286.4	36.7	360.8						397.6	111.2	
2003			2.37	76.9	7.7	84.6	42.3	672.8						715.2	630.6	
2004			2.28	35.5	7.3	42.7	45.1	811.9						857.0	814.3	
2005			2.19	22.9	6.9	29.8	52.1	1,004.3						1,026.6	1,026.6	
2006			2.11	64.9	6.6	71.5	59.9	1,067.8						1,056.2	1,056.2	
2007			2.03	294.4	6.2	300.6	63.4	1,069.4						1,132.8	832.3	
2008			1.95	179.9	5.7	185.6	65.4	1,054.5						1,119.9	934.3	
2009			1.87	1,374.4	29.0	1,403.4	61.7	774.3						836.0	-567.4	
2010			1.80	85.4	6.9	92.3	72.4	880.2						952.6	860.3	
2011			1.73	292.0	29.2	321.1	70.3	870.6						941.0	619.8	
2012			1.67	377.7	87.5	465.2	53.4	926.6						980.0	514.8	
2013			1.60	466.4	43.0	509.4	39.9	924.9						964.8	455.5	
2014			1.54	399.2	34.4	433.6	37.9	898.8						936.7	503.2	
2015	1		1.48	405.9	21.3	427.2	29.6	885.2						914.7	487.5	
2016	2		1.42	413.4	15.5	428.9	34.4	919.9						950.2	521.3	
2017	3		1.37	323.7	14.9	338.7	18.2	953.5						971.7	633.0	
2018	4		1.32	131.9	13.8	145.7	15.0	981.1	126.9					1,123.0	977.4	
2019	5		1.27	175.8	16.3	192.1	31.2	861.0	74.4					966.6	774.5	
2020	6		1.22	72.1	6.5	78.6	42.4	732.6	66.8					841.8	763.1	
2021	7		1.17	126.5	34.5	161.0	47.5	714.4	52.2					814.1	653.2	
2022	8		1.12	159.3	21.4	180.7	44.2	698.4	18.9					761.6	580.8	
2023	9		1.08	148.4	5.1	153.5	42.4	667.1	17.5					727.1	573.5	
2024	10		1.04	175.1	27.8	202.9	64.0	614.7	19.1					697.8	496.9	
2025	11		1.00	150.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4					721.5	547.3	
2026	12		0.96	29.6	8.7	38.3	107.8	568.3	17.7					693.8	655.5	
2027	13		0.92	99.8	36.0	135.7	125.5	521.0	83.3					729.9	594.1	
2028	14		0.89	66.8	35.6	102.4	123.7	476.6	80.1					680.3	578.0	
2029	15		0.85	63.3	3.5	66.8	121.8	434.8	77.0					633.6	566.7	
2030	16		0.82	79.6	3.4	82.9	119.9	395.5	74.0					589.4	506.5	
2031	17		0.79	60.6	3.2	63.8	117.9	358.6	71.2					547.7	483.8	
2032	18		0.76		3.1	3.1	239.4	323.9	63.9	51.9	22.5	6.6	5.2	713.5	710.4	
2033	19		0.73		3.0	3.0	230.2	311.4	61.5	49.9	21.4	6.2	4.9	685.6	682.6	
2034	20		0.70		2.9	2.9	221.3	299.5	59.1	48.0	20.2	5.9	4.7	658.7	655.8	
2035	21		0.68		23.4	23.4	212.8	287.9	56.8	46.2	19.1	5.6	4.4	632.8	609.4	
2036	22		0.65		2.7	2.7	204.6	276.9	54.7	44.4	18.0	5.2	4.1	607.9	605.2	
2037	23		0.62		5.8	5.8	196.8	266.2	52.6	42.7	16.9	4.9	3.9	583.9	578.1	
2038	24		0.60		10.4	10.4	189.2	256.0	50.5	41.0	15.8	4.6	3.6	560.8	550.4	
2039	25		0.58		14.4	14.4	181.9	246.1	48.6	39.5	14.8	4.3	3.4	538.6	524.2	
2040	26		0.56		21.3	21.3	174.9	236.7	46.7	37.9	13.8	4.0	3.2	516.2	496.0	
2041	27		0.53		19.5	19.5	168.2	227.6	44.9	36.5	12.8	3.7	3.0	497.7	477.2	
2042	28		0.51		17.0	17.0	161.7	218.8	43.2	35.1	11.9	3.5	2.7	477.0	460.0	
2043	29		0.49		6.1	6.1	155.5	210.4	41.5	33.7	11.1	3.2	2.5	458.0	445.9	
2044	30		0.47		5.0	5.0	149.5	202.3	39.9	32.4	10.3	3.0	2.4	439.8	424.8	
2045	31		0.46		3.7	3.7	143.8	194.5	38.4	31.2	9.5	2.8	2.2	422.3	418.6	
2046	32		0.44		3.1	3.1	138.2	187.0	36.9	30.0	8.8	2.6	2.0	405.5	402.4	
2047	33		0.42		9.8	9.8	132.9	179.8	35.5	28.8	8.1	2.4	1.9	389.4	379.6	
2048	34		0.41		6.4	6.4	127.8	172.9	34.1	27.7	7.4	2.2	1.7	373.9	367.5	
2049	35		0.39		8.2	8.2	122.9	166.3	32.8	26.7	6.8	2.0	1.6	359.0	350.8	
2050	36		0.38		9.0	9.0	118.2	159.9	31.6	25.6	6.2	1.8	1.4	344.8	335.7	
2051	37		0.36		4.8	4.8	113.6	153.7	30.4	24.6	5.7	1.7	1.3	331.1	326.3	
2052	38		0.35		3.1	3.1	109.3	147.8	29.2	23.7	5.2	1.5	1.2	317.9	314.8	
2053	39		0.33		13.0	13.0	105.1	142.1	28.1	22.8	4.8	1.4	1.1	305.3	292.3	
2054	40		0.32		12.8	12.8	101.0	136.7	27.0	21.9	4.4	1.3	1.0	293.2	280.4	
2055	41		0.31		1.3	1.3	97.1	131.4	25.9	21.1	4.0	1.2	0.9	281.6	280.3	
2056	42		0.30		1.2	1.2	93.4	126.4	24.9	20.3	3.6	1.1	0.8	270.4	269.2	
2057	43		0.29		1.2	1.2	89.8	121.5	24.0	19.5	3.3	1.0	0.8	259.8	258.6	
2058	44		0.27		1.1	1.1	86.3	116.8	23.1	18.7	3.0	0.9	0.7	249.5	248.4	
2059	45		0.26		1.1	1.1	83.0	112.3	22.2	18.0	2.7	0.8	0.6	239.7	238.6	
2060	46		0.25		1.0	1.0	79.8	108.0	21.3	17.3	2.4	0.7	0.6	230.2	229.2	
2061	47		0.24		8.4	8.4	76.8	103.9	20.5	16.6	2.2	0.6	0.5	221.1	212.7	
2062	48		0.23		1.0	1.0	73.8	99.9	19.7	16.0	2.0	0.6	0.5	212.0	211.5	
2063	49		0.23		2.1	2.1	71.0	96.0	19.0	15.5	1.8	0.5	0.4	204.1	202.0	
2064	50		0.22		3.7	3.7	68.2	92.3	18.2	14.8	1.6	0.5	0.4	542.8	738.9	

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（建設期間+10%）

費用便益分析シート（割引前）

割引前													(億円)	
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987		0.2		0.2									-0.2	
1988		21.5		21.5									-21.5	
1989		36.0		36.0									-36.0	
1990		28.3		28.3									-28.3	
1991		98.9		98.9									-98.9	
1992		205.5		205.5									-205.5	
1993		185.3		185.3									-185.3	
1994		221.6		221.6									-221.6	
1995		580.8		580.8									-580.8	
1996		253.3	2.5	255.8									-217.5	
1997		83.3	3.1	86.4									-83.4	
1998		92.5	3.2	95.7									-92.5	
1999		49.5	3.2	52.7		8.7							-40.8	
2000		44.4	3.2	47.5		11.9							-35.6	
2001		116.7	3.2	119.9		13.4							-86.5	
2002		112.9	3.3	116.2		14.9							-81.3	
2003		32.4	3.2	35.7		17.9							-27.8	
2004		15.6	3.2	18.8		19.8							-13.2	
2005		10.4	3.2	13.6		23.8							-3.2	
2006		30.8	3.1	33.9		28.4							-3.1	
2007		145.3	3.0	148.4		31.3							-117.1	
2008		92.4	2.9	95.3		33.6							-61.7	
2009		733.8	15.5	749.3		33.0							-733.8	
2010		47.4	3.8	51.3		40.2							-47.4	
2011		168.6	16.8	185.4		40.6							-168.6	
2012		226.8	52.5	279.4		32.1							-226.8	
2013		291.3	26.9	318.2		24.9							-291.3	
2014		259.3	22.3	281.6		24.6							-259.3	
2015	1	274.2	14.4	288.6		20.0							-274.2	
2016	2	290.5	10.9	301.4		21.4							-290.5	
2017	3	236.6	10.9	247.5		13.3							-236.6	
2018	4	100.2	10.5	110.7		11.4		96.5					-100.2	
2019	5	138.9	12.9	151.8		24.7		58.8					-138.9	
2020	6	59.3	5.4	64.6		34.9		60.2					-59.3	
2021	7	108.1	29.5	137.6		40.6		61.0					-108.1	
2022	8	141.6	19.0	160.7		39.3		62.0					-141.6	
2023	9	137.2	4.7	141.9		39.2		61.8					-137.2	
2024	10	166.5	26.7	193.2		61.5		591.0					-166.5	
2025	11	159.4	14.8	174.3		112.1		591.0					-159.4	
2026	12	28.5	10.0	38.5		112.1		591.0					-28.5	
2027	13	99.9	43.2	143.2		135.8		563.6					-99.9	
2028	14	69.6	44.5	114.0		139.1		536.1					-69.6	
2029	15	68.6	4.6	73.2		142.5		508.6					-68.6	
2030	16	89.6	4.6	94.2		145.9		481.2					-89.6	
2031	17	71.0	4.6	75.5		149.2		453.7					-71.0	
2032	18	85.5	4.6	90.0		149.2		453.7					-85.5	
2033	19		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	30.5	8.9	7.0		315.0	
2034	20		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	30.5	8.6	6.8		315.0	
2035	21		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	28.9	8.4	6.6		315.0	
2036	22		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5		315.0	
2037	23		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	27.5	8.0	6.3		315.0	
2038	24		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	26.7	7.8	6.2		315.0	
2039	25		27.7	27.7	315.0	426.2	84.2	68.3	25.9	7.6	6.0		315.0	
2040	26		42.5	42.5	315.0	426.2	84.2	68.3	25.1	7.3	5.8		315.0	
2041	27		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.3	7.1	5.6		315.0	
2042	28		36.8	36.8	315.0	426.2	84.2	68.3	23.4	6.8	5.4		315.0	
2043	29		13.8	13.8	315.0	426.2	84.2	68.3	22.6	6.6	5.2		315.0	
2044	30		11.7	11.7	315.0	426.2	84.2	68.3	21.7	6.3	5.0		315.0	
2045	31		8.9	8.9	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8		315.0	
2046	32		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	20.0	5.8	4.6		315.0	
2047	33		25.9	25.9	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4		315.0	
2048	34		17.6	17.6	315.0	426.2	84.2	68.3	18.2	5.3	4.2		315.0	
2049	35		23.5	23.5	315.0	426.2	84.2	68.3	17.4	5.1	4.0		315.0	
2050	36		26.7	26.7	315.0	426.2	84.2	68.3	16.6	4.8	3.8		315.0	
2051	37		14.8	14.8	315.0	426.2	84.2	68.3	15.8	4.6	3.6		315.0	
2052	38		10.0	10.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.0	4.4	3.4		315.0	
2053	39		43.2	43.2	315.0	426.2	84.2	68.3	14.2	4.1	3.3		315.0	
2054	40		44.5	44.5	315.0	426.2	84.2	68.3	13.4	3.9	3.1		315.0	
2055	41		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.7	3.7	2.9		315.0	
2056	42		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.0	3.5	2.8		315.0	
2057	43		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.3	3.3	2.6		315.0	
2058	44		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.7	3.1	2.5		315.0	
2059	45		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.1	2.9	2.3		315.0	
2060	46		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.5	2.8	2.2		315.0	
2061	47		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	8.9	2.6	2.1		315.0	
2062	48		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	8.4	2.4	1.9		315.0	
2063	49		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	7.8	2.3	1.8		315.0	
2064	50		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	7.3	2.1	1.7	2,511.0	3,415.9	3,396.7
合 計		6,510.1	1,031.1	7,541.2	11,872.1	30,658.9	3,576.2	2,186.2	613.3	178.9	141.2	2,511.0	51,737.8	44,196.6

費用便益分析シート（割引後）

EIRR=	11.1%	NPV=	26,342 億円
B/C=	2.86		

割引後													(億円)		
年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987			4.44	0.8	0.8									-0.8	
1988			4.27	91.9	91.9									-91.9	
1989			4.10	147.9	147.9									-147.9	
1990			3.95	111.5	111.5									-111.5	
1991			3.79	375.4	375.4									-375.4	
1992			3.65	749.6	749.6									-749.6	
1993			3.51	650.2	650.2									-650.2	
1994			3.37	747.4	747.4									-747.4	
1995			3.24	1,883.7	1,883.7									-1,883.7	
1996			3.12	790.1	797.8				119.6					-678.2	
1997			3.00	249.9	9.3	259.2			162.1					-97.1	
1998			2.88	266.7	9.1	275.8			323.5					47.6	
1999			2.77	137.2	8.8	146.1		24.1	309.0					187.1	
2000			2.67	118.2	8.5	126.7		31.6	261.0					165.9	
2001			2.56	299.1	8.3	307.4		34.3	191.1					-82.1	
2002			2.46	278.3	8.1	286.4		36.7	360.8					111.2	
2003			2.37	76.9	7.7	84.6		42.3	672.8					630.6	
2004			2.28	35.5	7.3	42.7		45.1	611.9					574.3	
2005			2.19	22.9	6.9	29.8		52.1	1,004.3					1,056.4	
2006			2.11	64.9	6.6	71.5		59.9	1,067.8					1,026.6	
2007			2.03	294.4	6.2	300.6		63.4	1,069.4					832.3	
2008			1.95	179.9	5.7	185.6		65.4	1,054.5					934.3	
2009			1.87	1,374.4	29.0	1,403.4		61.7	774.3					-567.4	
2010			1.80	85.4	6.9	92.3		72.4	880.2					860.3	
2011			1.73	292.0	29.2	321.1		70.3	870.6					619.8	
2012			1.67	377.7	87.5	465.2		53.4	926.6					514.8	
2013			1.60	466.4	43.0	509.4									

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析（建設期間-10%）

費用便益分析シート（割引前）

割引前													(億円)	
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987		0.2		0.2										-0.2
1988		21.5		21.5										-21.5
1989		36.0		36.0										-36.0
1990		28.3		28.3										-28.3
1991		98.9		98.9										-98.9
1992		205.5		205.5										-205.5
1993		185.3		185.3										-185.3
1994		221.6		221.6										-221.6
1995		580.8		580.8										-580.8
1996		253.3	2.5	255.8		38.4							38.4	-217.5
1997		83.3	3.1	86.4		54.1							54.1	-32.4
1998		92.5	3.2	95.7		112.2							112.2	16.5
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5							120.2	67.5
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9							109.8	62.2
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5							87.9	-32.0
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4							161.3	45.1
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9							301.8	266.1
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3							376.1	357.4
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3							482.1	468.5
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8							535.2	501.3
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9							559.2	410.8
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3							574.9	479.6
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4							446.4	-302.9
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8							529.0	477.7
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8							543.4	357.9
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5							588.6	309.2
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7							602.6	284.5
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9							608.5	326.9
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0							618.0	329.4
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3							667.6	366.3
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7							710.0	462.5
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5						853.4	742.7
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8						763.9	612.1
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9						691.9	627.2
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6						695.9	558.3
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8						677.0	516.4
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2						672.2	530.3
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4						670.9	477.8
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4						721.5	547.3
2026	12	51.3	10.0	61.3	112.1	591.0	18.4						721.5	660.3
2027	13	137.0	43.2	180.2	135.8	563.6	90.1						789.4	609.3
2028	14	100.5	44.5	145.0	139.1	536.1	90.1						765.3	620.3
2029	15	99.4	4.6	103.9	142.5	508.6	90.1						741.2	637.3
2030	16	124.6	4.6	129.2	145.9	481.2	90.1						717.1	587.9
2031	17		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6		937.5	933.0
2032	18		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.5	8.3	6.6		937.0	932.5
2033	19		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.1	8.2	6.5		936.4	931.9
2034	20		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	27.6	8.1	6.4		935.7	931.2
2035	21		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	27.1	7.9	6.2		935.0	896.5
2036	22		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	26.5	7.7	6.1		934.1	929.5
2037	23		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	25.9	7.6	6.0		933.1	922.9
2038	24		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	25.2	7.4	5.8		932.1	912.9
2039	25		27.7	27.7	315.0	426.2	84.2	68.3	24.6	7.2	5.7		931.1	903.4
2040	26		42.5	42.5	315.0	426.2	84.2	68.3	23.8	7.0	5.5		930.0	887.5
2041	27		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	23.1	6.7	5.3		928.8	888.3
2042	28		36.8	36.8	315.0	426.2	84.2	68.3	22.3	6.5	5.1		927.7	890.9
2043	29		13.8	13.8	315.0	426.2	84.2	68.3	21.5	6.3	5.0		926.5	912.7
2044	30		11.7	11.7	315.0	426.2	84.2	68.3	20.7	6.1	4.8		925.3	913.6
2045	31		8.9	8.9	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6		924.1	915.1
2046	32		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4		922.8	914.9
2047	33		25.9	25.9	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.4	4.2		921.6	895.8
2048	34		17.6	17.6	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0		920.4	902.8
2049	35		23.5	23.5	315.0	426.2	84.2	68.3	16.8	4.9	3.9		919.2	895.8
2050	36		26.7	26.7	315.0	426.2	84.2	68.3	16.0	4.7	3.7		918.0	891.3
2051	37		14.8	14.8	315.0	426.2	84.2	68.3	15.2	4.4	3.5		916.9	902.1
2052	38		10.0	10.0	315.0	426.2	84.2	68.3	14.5	4.2	3.3		915.7	905.7
2053	39		43.2	43.2	315.0	426.2	84.2	68.3	13.8	4.0	3.2		914.6	871.4
2054	40		44.5	44.5	315.0	426.2	84.2	68.3	13.0	3.8	3.0		913.6	869.1
2055	41		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.4	3.6	2.8		912.5	908.0
2056	42		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.7	3.4	2.7		911.5	907.0
2057	43		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.0	3.2	2.5		910.5	906.0
2058	44		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.4	3.0	2.4		909.6	905.0
2059	45		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.8	2.9	2.3		908.7	904.1
2060	46		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.3	2.7	2.1		907.8	903.3
2061	47		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	8.7	2.5	2.0		907.0	888.5
2062	48		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	8.2	2.4	1.9		906.2	901.6
2063	49		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	7.7	2.2	1.8		905.4	895.1
2064	50		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	7.2	2.1	1.7	2,535.2	3,439.9	3,420.7
合 計														44,623.5

費用便益分析シート（割引後）

EIR= 11.1% NPV= 26,652 億円
B/C= 2.88

割引後													(億円)		
年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987			4.44	0.8	0.8										-0.8
1988			4.27	91.9	91.9										-91.9
1989			4.10	147.9	147.9										-147.9
1990			3.95	111.5	111.5										-111.5
1991			3.79	375.4	375.4										-375.4
1992			3.65	749.6	749.6										-749.6
1993			3.51	650.2	650.2										-650.2
1994			3.37	747.4	747.4										-747.4
1995			3.24	1,883.7	1,883.7										-1,883.7
1996			3.12	790.1	7.8	797.8		119.6					119.6	-678.2	
1997			3.00	249.9	9.3	259.2		162.1					162.1	-97.1	
1998			2.88	266.7	9.1	275.8		323.5					323.5	47.6	
1999			2.77	137.2	8.8	146.1	24.1	309.0					333.2	187.1	
2000			2.67	118.2	8.5	126.7	31.6	261.0					292.6	165.9	
2001			2.56	299.1	8.3	307.4	34.3	191.1					225.3	-82.1	
2002			2.46	278.3	8.1	286.4	36.7	360.8					397.6	111.2	
2003			2.37	76.9	7.7	84.6	42.3	672.8					715.2	630.6	
2004			2.28	35.5	7.3	42.7	45.1	611.9					857.0	814.3	
2005			2.19	22.9	6.9	29.8	52.1	1,004.3					1,056.4	1,026.6	
2006			2.11	64.9	6.6	71.5	59.9	1,067.8					1,127.6	1,056.2	
2007			2.03	294.4	6.2	300.6	63.4	1,069.4					1,132.8	832.3	
2008			1.9												

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引前							純便益(B-C)
					PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	
2026	12	34.2	10.0	44.2								-44.2
2027	13	119.9	43.2	163.1								-163.1
2028	14	83.5	44.5	128.0								-128.0
2029	15	82.3	4.6	86.9								-86.9
2030	16	107.6	4.6	112.1								-112.1
2031	17	85.2	4.6	89.7								-89.7
2032	18		4.6	4.6	162.5	68.3	29.7	8.7	6.8		275.9	271.4
2033	19		4.6	4.6	162.5	68.3	29.3	8.5	6.7		275.3	270.8
2034	20		4.6	4.6	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6		274.6	270.0
2035	21		38.5	38.5	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5		273.8	235.3
2036	22		4.6	4.6	162.5	68.3	27.7	8.1	6.4		272.9	268.3
2037	23		10.3	10.3	162.5	68.3	27.0	7.9	6.2		271.9	261.6
2038	24		19.2	19.2	162.5	68.3	26.3	7.7	6.1		270.8	251.6
2039	25		27.7	27.7	162.5	68.3	25.6	7.5	5.9		269.7	242.0
2040	26		42.5	42.5	162.5	68.3	24.8	7.2	5.7		268.6	226.1
2041	27		40.5	40.5	162.5	68.3	24.1	7.0	5.5		267.4	226.9
2042	28		36.8	36.8	162.5	68.3	23.3	6.8	5.4		266.2	229.4
2043	29		13.8	13.8	162.5	68.3	22.4	6.5	5.2		264.9	251.2
2044	30		11.7	11.7	162.5	68.3	21.6	6.3	5.0		263.7	252.0
2045	31		8.9	8.9	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8		262.4	253.5
2046	32		8.0	8.0	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6		261.1	253.2
2047	33		25.9	25.9	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.9	234.0
2048	34		17.6	17.6	162.5	68.3	18.3	5.3	4.2		258.6	241.0
2049	35		23.5	23.5	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0		257.4	233.9
2050	36		26.7	26.7	162.5	68.3	16.7	4.9	3.8		256.1	229.4
2051	37		14.8	14.8	162.5	68.3	15.9	4.6	3.7		254.9	240.1
2052	38		10.0	10.0	162.5	68.3	15.1	4.4	3.5		253.7	243.7
2053	39		43.2	43.2	162.5	68.3	14.3	4.2	3.3		252.6	209.4
2054	40		44.5	44.5	162.5	68.3	13.6	4.0	3.1		251.5	207.0
2055	41		4.6	4.6	162.5	68.3	12.9	3.8	3.0		250.4	245.8
2056	42		4.6	4.6	162.5	68.3	12.2	3.6	2.8		249.3	244.8
2057	43		4.6	4.6	162.5	68.3	11.5	3.4	2.7		248.3	243.8
2058	44		4.6	4.6	162.5	68.3	10.9	3.2	2.5		247.3	242.8
2059	45		4.6	4.6	162.5	68.3	10.2	3.0	2.4		246.4	241.8
2060	46		4.6	4.6	162.5	68.3	9.6	2.8	2.2		245.5	240.9
2061	47		38.5	38.5	162.5	68.3	9.1	2.6	2.1		244.6	206.1
2062	48		4.6	4.6	162.5	68.3	8.5	2.5	2.0		243.7	239.2
2063	49		10.3	10.3	162.5	68.3	8.0	2.3	1.8		243.0	232.7
2064	50		19.2	19.2	162.5	68.3	7.5	2.2	1.7	354.7	596.9	577.7
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,361.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	354.7	8,899.0	7,693.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	23.3%	NPV=	3,046 億円
B/C=	4.80		

(億円)													
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引後				総便益(B)	純便益(B-C)	
							RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避			
2026	12	0.96	32.9	9.6	42.5							-42.5	
2027	13	0.92	110.9	40.0	150.8							-150.8	
2028	14	0.89	74.2	39.5	113.8							-113.8	
2029	15	0.85	70.4	3.9	74.3							-74.3	
2030	16	0.82	88.4	3.7	92.1							-92.1	
2031	17	0.79	67.3	3.6	70.9							-70.9	
2032	18	0.76		3.5	3.5	123.5	51.9	22.5	6.6	5.2	209.7	206.2	
2033	19	0.73		3.3	3.3	118.7	49.9	21.4	6.2	4.9	201.2	197.8	
2034	20	0.70		3.2	3.2	114.1	48.0	20.2	5.9	4.7	192.9	189.7	
2035	21	0.68		26.0	26.0	109.8	46.2	19.1	5.6	4.4	184.9	159.0	
2036	22	0.65		3.0	3.0	105.5	44.4	18.0	5.2	4.1	177.2	174.3	
2037	23	0.62		6.4	6.4	101.5	42.7	16.9	4.9	3.9	169.8	163.4	
2038	24	0.60		11.5	11.5	97.6	41.0	15.8	4.6	3.6	162.7	151.1	
2039	25	0.58		16.0	16.0	93.8	39.5	14.8	4.3	3.4	155.8	139.8	
2040	26	0.56		23.6	23.6	90.2	37.9	13.8	4.0	3.2	149.1	125.5	
2041	27	0.53		21.6	21.6	86.7	36.5	12.8	3.7	3.0	142.8	121.1	
2042	28	0.51		18.9	18.9	83.4	35.1	11.9	3.5	2.7	136.6	117.7	
2043	29	0.49		6.8	6.8	80.2	33.7	11.1	3.2	2.5	130.8	124.0	
2044	30	0.47		5.5	5.5	77.1	32.4	10.3	3.0	2.4	125.1	119.6	
2045	31	0.46		4.1	4.1	74.1	31.2	9.5	2.8	2.2	119.8	115.7	
2046	32	0.44		3.5	3.5	71.3	30.0	8.8	2.6	2.0	114.6	111.1	
2047	33	0.42		10.9	10.9	68.6	28.8	8.1	2.4	1.9	109.6	98.7	
2048	34	0.41		7.2	7.2	65.9	27.7	7.4	2.2	1.7	104.9	97.8	
2049	35	0.39		9.1	9.1	63.4	26.7	6.8	2.0	1.6	100.4	91.2	
2050	36	0.38		10.0	10.0	60.9	25.6	6.2	1.8	1.4	96.1	86.1	
2051	37	0.36		5.3	5.3	58.6	24.6	5.7	1.7	1.3	92.0	86.6	
2052	38	0.35		3.5	3.5	56.3	23.7	5.2	1.5	1.2	88.0	84.5	
2053	39	0.33		14.4	14.4	54.2	22.8	4.8	1.4	1.1	84.2	69.8	
2054	40	0.32		14.3	14.3	52.1	21.9	4.4	1.3	1.0	80.6	66.4	
2055	41	0.31		1.4	1.4	50.1	21.1	4.0	1.2	0.9	77.2	75.8	
2056	42	0.30		1.3	1.3	48.2	20.3	3.6	1.1	0.8	73.9	72.6	
2057	43	0.29		1.3	1.3	46.3	19.5	3.3	1.0	0.8	70.8	69.5	
2058	44	0.27		1.2	1.2	44.5	18.7	3.0	0.9	0.7	67.8	66.5	
2059	45	0.26		1.2	1.2	42.8	18.0	2.7	0.8	0.6	64.9	63.7	
2060	46	0.25		1.2	1.2	41.2	17.3	2.4	0.7	0.6	62.2	61.0	
2061	47	0.24		9.4	9.4	39.6	16.6	2.2	0.6	0.5	59.6	50.2	
2062	48	0.23		1.1	1.1	38.1	16.0	2.0	0.6	0.5	57.1	56.0	
2063	49	0.23		2.3	2.3	36.6	15.4	1.8	0.5	0.4	54.7	52.4	
2064	50	0.22		4.2	4.2	35.2	14.8	1.6	0.5	0.4	76.8	129.3	
合 計			444.1	356.5	800.6	2,330.1	979.9	302.0	88.1	69.5	76.8	3,846.4	3,045.8

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（需要-10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引前							純便益(B-C)
					PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	
2026	12	34.2	10.0	44.2								-44.2
2027	13	119.9	43.2	163.1								-163.1
2028	14	83.5	44.5	128.0								-128.0
2029	15	82.3	4.6	86.9								-86.9
2030	16	107.6	4.6	112.1								-112.1
2031	17	85.2	4.6	89.7								-89.7
2032	18		4.6	4.6	146.2	61.5	26.7	7.8	6.2		248.3	243.8
2033	19		4.6	4.6	146.2	61.5	26.3	7.7	6.1		247.8	243.2
2034	20		4.6	4.6	146.2	61.5	25.9	7.6	6.0		247.1	242.6
2035	21		38.5	38.5	146.2	61.5	25.4	7.4	5.9		246.4	207.9
2036	22		4.6	4.6	146.2	61.5	24.9	7.3	5.7		245.6	241.0
2037	23		10.3	10.3	146.2	61.5	24.3	7.1	5.6		244.7	234.4
2038	24		19.2	19.2	146.2	61.5	23.7	6.9	5.5		243.7	224.6
2039	25		27.7	27.7	146.2	61.5	23.0	6.7	5.3		242.7	215.0
2040	26		42.5	42.5	146.2	61.5	22.4	6.5	5.2		241.7	199.2
2041	27		40.5	40.5	146.2	61.5	21.7	6.3	5.0		240.7	200.2
2042	28		36.8	36.8	146.2	61.5	20.9	6.1	4.8		239.6	202.8
2043	29		13.8	13.8	146.2	61.5	20.2	5.9	4.6		238.4	224.7
2044	30		11.7	11.7	146.2	61.5	19.5	5.7	4.5		237.3	225.6
2045	31		8.9	8.9	146.2	61.5	18.7	5.5	4.3		236.2	227.2
2046	32		8.0	8.0	146.2	61.5	18.0	5.2	4.1		235.0	227.1
2047	33		25.9	25.9	146.2	61.5	17.2	5.0	4.0		233.9	208.0
2048	34		17.6	17.6	146.2	61.5	16.5	4.8	3.8		232.7	215.1
2049	35		23.5	23.5	146.2	61.5	15.7	4.6	3.6		231.6	208.2
2050	36		26.7	26.7	146.2	61.5	15.0	4.4	3.5		230.5	203.8
2051	37		14.8	14.8	146.2	61.5	14.3	4.2	3.3		229.4	214.6
2052	38		10.0	10.0	146.2	61.5	13.6	4.0	3.1		228.4	218.4
2053	39		43.2	43.2	146.2	61.5	12.9	3.8	3.0		227.3	184.1
2054	40		44.5	44.5	146.2	61.5	12.2	3.6	2.8		226.3	181.8
2055	41		4.6	4.6	146.2	61.5	11.6	3.4	2.7		225.3	220.8
2056	42		4.6	4.6	146.2	61.5	11.0	3.2	2.5		224.4	219.8
2057	43		4.6	4.6	146.2	61.5	10.4	3.0	2.4		223.5	218.9
2058	44		4.6	4.6	146.2	61.5	9.8	2.9	2.3		222.6	218.0
2059	45		4.6	4.6	146.2	61.5	9.2	2.7	2.1		221.7	217.2
2060	46		4.6	4.6	146.2	61.5	8.7	2.5	2.0		220.9	216.4
2061	47		38.5	38.5	146.2	61.5	8.2	2.4	1.9		220.1	181.7
2062	48		4.6	4.6	146.2	61.5	7.7	2.2	1.8		219.4	214.8
2063	49		10.3	10.3	146.2	61.5	7.2	2.1	1.7		218.7	208.4
2064	50		19.2	19.2	146.2	61.5	6.8	2.0	1.6	319.2	537.2	518.0
合 計		512.7	693.2	1,205.9	4,824.9	2,029.2	549.2	160.1	126.4	319.2	8,009.1	6,803.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 21.7% NPV= 2,661 億円
B/C= 4.32

(億円)												
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引後						
						PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	純便益(B-C)
2026	12	0.96	32.9	9.6	42.5							-42.5
2027	13	0.92	110.9	40.0	150.8							-150.8
2028	14	0.89	74.2	39.5	113.8							-113.8
2029	15	0.85	70.4	3.9	74.3							-74.3
2030	16	0.82	88.4	3.7	92.1							-92.1
2031	17	0.79	67.3	3.6	70.9							-70.9
2032	18	0.76		3.5	3.5	111.1	46.7	20.3	5.9	4.7		188.7
2033	19	0.73		3.3	3.3	106.8	44.9	19.2	5.6	4.4		181.0
2034	20	0.70		3.2	3.2	102.7	43.2	18.2	5.3	4.2		173.6
2035	21	0.68		26.0	26.0	98.8	41.5	17.2	5.0	4.0		166.5
2036	22	0.65		3.0	3.0	95.0	39.9	16.2	4.7	3.7		159.5
2037	23	0.62		6.4	6.4	91.3	38.4	15.2	4.4	3.5		152.8
2038	24	0.60		11.5	11.5	87.8	36.9	14.2	4.1	3.3		146.4
2039	25	0.58		16.0	16.0	84.4	35.5	13.3	3.9	3.1		140.2
2040	26	0.56		23.6	23.6	81.2	34.1	12.4	3.6	2.9		134.2
2041	27	0.53		21.6	21.6	78.1	32.8	11.6	3.4	2.7		128.5
2042	28	0.51		18.9	18.9	75.1	31.6	10.7	3.1	2.5		123.0
2043	29	0.49		6.8	6.8	72.2	30.4	10.0	2.9	2.3		117.7
2044	30	0.47		5.5	5.5	69.4	29.2	9.2	2.7	2.1		112.6
2045	31	0.46		4.1	4.1	66.7	28.1	8.5	2.5	2.0		107.8
2046	32	0.44		3.5	3.5	64.2	27.0	7.9	2.3	1.8		103.1
2047	33	0.42		10.9	10.9	61.7	25.9	7.3	2.1	1.7		98.7
2048	34	0.41		7.2	7.2	59.3	24.9	6.7	1.9	1.5		94.4
2049	35	0.39		9.1	9.1	57.0	24.0	6.1	1.8	1.4		90.4
2050	36	0.38		10.0	10.0	54.8	23.1	5.6	1.6	1.3		86.5
2051	37	0.36		5.3	5.3	52.7	22.2	5.2	1.5	1.2		82.8
2052	38	0.35		3.5	3.5	50.7	21.3	4.7	1.4	1.1		79.2
2053	39	0.33		14.4	14.4	48.8	20.5	4.3	1.3	1.0		75.8
2054	40	0.32		14.3	14.3	46.9	19.7	3.9	1.1	0.9		72.6
2055	41	0.31		1.4	1.4	45.1	19.0	3.6	1.0	0.8		69.5
2056	42	0.30		1.3	1.3	43.3	18.2	3.2	0.9	0.7		66.5
2057	43	0.29		1.3	1.3	41.7	17.5	3.0	0.9	0.7		63.7
2058	44	0.27		1.2	1.2	40.1	16.9	2.7	0.8	0.6		61.0
2059	45	0.26		1.2	1.2	38.5	16.2	2.4	0.7	0.6		58.4
2060	46	0.25		1.2	1.2	37.1	15.6	2.2	0.6	0.5		56.0
2061	47	0.24		9.4	9.4	35.6	15.0	2.0	0.6	0.5		53.6
2062	48	0.23		1.1	1.1	34.3	14.4	1.8	0.5	0.4		51.4
2063	49	0.23		2.3	2.3	32.9	13.9	1.6	0.5	0.4		49.3
2064	50	0.22		4.2	4.2	31.7	13.3	1.5	0.4	0.3	69.2	116.4
合 計			444.1	356.5	800.6	2,097.0	881.9	271.8	79.3	62.6	69.2	3,461.7
												2,661.1

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（需要+10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引前					総便益(B)	純便益(B-C)	
					PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値		
2026	12	34.2	10.0	44.2							-44.2	
2027	13	119.9	43.2	163.1							-163.1	
2028	14	83.5	44.5	128.0							-128.0	
2029	15	82.3	4.6	86.9							-86.9	
2030	16	107.6	4.6	112.1							-112.1	
2031	17	85.2	4.6	89.7							-89.7	
2032	18		4.6	4.6	178.7	75.2	32.6	9.5	7.5	303.5	299.0	
2033	19		4.6	4.6	178.7	75.2	32.2	9.4	7.4	302.8	298.3	
2034	20		4.6	4.6	178.7	75.2	31.7	9.2	7.3	302.0	297.5	
2035	21		38.5	38.5	178.7	75.2	31.1	9.1	7.2	301.1	262.7	
2036	22		4.6	4.6	178.7	75.2	30.4	8.9	7.0	300.2	295.6	
2037	23		10.3	10.3	178.7	75.2	29.7	8.7	6.8	299.1	288.8	
2038	24		19.2	19.2	178.7	75.2	29.0	8.4	6.7	297.9	278.7	
2039	25		27.7	27.7	178.7	75.2	28.2	8.2	6.5	296.7	269.0	
2040	26		42.5	42.5	178.7	75.2	27.3	8.0	6.3	295.4	252.9	
2041	27		40.5	40.5	178.7	75.2	26.5	7.7	6.1	294.1	253.6	
2042	28		36.8	36.8	178.7	75.2	25.6	7.5	5.9	292.8	256.0	
2043	29		13.8	13.8	178.7	75.2	24.7	7.2	5.7	291.4	277.7	
2044	30		11.7	11.7	178.7	75.2	23.8	6.9	5.5	290.0	278.4	
2045	31		8.9	8.9	178.7	75.2	22.9	6.7	5.3	288.7	279.7	
2046	32		8.0	8.0	178.7	75.2	21.9	6.4	5.1	287.2	279.3	
2047	33		25.9	25.9	178.7	75.2	21.0	6.1	4.8	285.9	260.0	
2048	34		17.6	17.6	178.7	75.2	20.1	5.9	4.6	284.5	266.8	
2049	35		23.5	23.5	178.7	75.2	19.2	5.6	4.4	283.1	259.6	
2050	36		26.7	26.7	178.7	75.2	18.3	5.4	4.2	281.8	255.0	
2051	37		14.8	14.8	178.7	75.2	17.5	5.1	4.0	280.4	265.6	
2052	38		10.0	10.0	178.7	75.2	16.6	4.8	3.8	279.1	269.1	
2053	39		43.2	43.2	178.7	75.2	15.8	4.6	3.6	277.9	234.6	
2054	40		44.5	44.5	178.7	75.2	15.0	4.4	3.4	276.6	232.1	
2055	41		4.6	4.6	178.7	75.2	14.2	4.1	3.3	275.4	270.9	
2056	42		4.6	4.6	178.7	75.2	13.4	3.9	3.1	274.3	269.7	
2057	43		4.6	4.6	178.7	75.2	12.7	3.7	2.9	273.1	268.6	
2058	44		4.6	4.6	178.7	75.2	12.0	3.5	2.8	272.1	267.5	
2059	45		4.6	4.6	178.7	75.2	11.3	3.3	2.6	271.0	266.5	
2060	46		4.6	4.6	178.7	75.2	10.6	3.1	2.4	270.0	265.4	
2061	47		38.5	38.5	178.7	75.2	10.0	2.9	2.3	269.0	230.6	
2062	48		4.6	4.6	178.7	75.2	9.4	2.7	2.2	268.1	263.6	
2063	49		10.3	10.3	178.7	75.2	8.8	2.6	2.0	267.2	257.0	
2064	50		19.2	19.2	178.7	75.2	8.3	2.4	1.9	390.2	656.6	637.4
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,897.4	2,480.0	671.3	195.7	154.5	390.2	9,789.0	8,583.1

費用便益分析シート(割引後)

(億円)													
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引後				総便益(B)	純便益(B-C)	
							RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避			
2026	12	0.96	32.9	9.6	42.5							-42.5	
2027	13	0.92	110.9	40.0	150.8							-150.8	
2028	14	0.89	74.2	39.5	113.8							-113.8	
2029	15	0.85	70.4	3.9	74.3							-74.3	
2030	16	0.82	88.4	3.7	92.1							-92.1	
2031	17	0.79	67.3	3.6	70.9							-70.9	
2032	18	0.76		3.5	3.5	135.8	57.1	24.8	7.2	5.7	230.7	227.2	
2033	19	0.73		3.3	3.3	130.6	54.9	23.5	6.9	5.4	221.3	218.0	
2034	20	0.70		3.2	3.2	125.6	52.8	22.2	6.5	5.1	212.2	209.0	
2035	21	0.68		26.0	26.0	120.7	50.8	21.0	6.1	4.8	203.4	177.5	
2036	22	0.65		3.0	3.0	116.1	48.8	19.8	5.8	4.5	195.0	192.0	
2037	23	0.62		6.4	6.4	111.6	46.9	18.6	5.4	4.3	186.8	180.4	
2038	24	0.60		11.5	11.5	107.3	45.1	17.4	5.1	4.0	178.9	167.4	
2039	25	0.58		16.0	16.0	103.2	43.4	16.3	4.7	3.7	171.3	155.3	
2040	26	0.56		23.6	23.6	99.2	41.7	15.2	4.4	3.5	164.0	140.4	
2041	27	0.53		21.6	21.6	95.4	40.1	14.1	4.1	3.3	157.0	135.4	
2042	28	0.51		18.9	18.9	91.7	38.6	13.1	3.8	3.0	150.3	131.4	
2043	29	0.49		6.8	6.8	88.2	37.1	12.2	3.5	2.8	143.8	137.1	
2044	30	0.47		5.5	5.5	84.8	35.7	11.3	3.3	2.6	137.7	132.1	
2045	31	0.46		4.1	4.1	81.6	34.3	10.4	3.0	2.4	131.7	127.7	
2046	32	0.44		3.5	3.5	78.4	33.0	9.6	2.8	2.2	126.1	122.6	
2047	33	0.42		10.9	10.9	75.4	31.7	8.9	2.6	2.0	120.6	109.7	
2048	34	0.41		7.2	7.2	72.5	30.5	8.2	2.4	1.9	115.4	108.3	
2049	35	0.39		9.1	9.1	69.7	29.3	7.5	2.2	1.7	110.4	101.3	
2050	36	0.38		10.0	10.0	67.0	28.2	6.9	2.0	1.6	105.7	95.7	
2051	37	0.36		5.3	5.3	64.5	27.1	6.3	1.8	1.4	101.1	95.8	
2052	38	0.35		3.5	3.5	62.0	26.1	5.8	1.7	1.3	96.8	93.3	
2053	39	0.33		14.4	14.4	59.6	25.1	5.3	1.5	1.2	92.7	78.2	
2054	40	0.32		14.3	14.3	57.3	24.1	4.8	1.4	1.1	88.7	74.4	
2055	41	0.31		1.4	1.4	55.1	23.2	4.4	1.3	1.0	84.9	83.5	
2056	42	0.30		1.3	1.3	53.0	22.3	4.0	1.2	0.9	81.3	80.0	
2057	43	0.29		1.3	1.3	50.9	21.4	3.6	1.1	0.8	77.9	76.6	
2058	44	0.27		1.2	1.2	49.0	20.6	3.3	1.0	0.8	74.6	73.3	
2059	45	0.26		1.2	1.2	47.1	19.8	3.0	0.9	0.7	71.4	70.2	
2060	46	0.25		1.2	1.2	45.3	19.0	2.7	0.8	0.6	68.4	67.3	
2061	47	0.24		9.4	9.4	43.5	18.3	2.4	0.7	0.6	65.6	56.2	
2062	48	0.23		1.1	1.1	41.9	17.6	2.2	0.6	0.5	62.8	61.8	
2063	49	0.23		2.3	2.3	40.3	16.9	2.0	0.6	0.5	60.2	57.9	
2064	50	0.22		4.2	4.2	38.7	16.3	1.8	0.5	0.4	84.5	142.2	
合 計			444.1	356.5	800.6	2,563.1	1,077.8	332.2	96.9	76.5	84.5	4,231.0	3,430.4

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（建設費+10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引前					総便益(B)	純便益(B-C)	
					PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値		
2026	12	37.7	11.0	48.7							-48.7	
2027	13	131.9	47.5	179.5							-179.5	
2028	14	91.8	48.9	140.8							-140.8	
2029	15	90.6	5.0	95.6							-95.6	
2030	16	118.3	5.0	123.3							-123.3	
2031	17	93.7	5.0	98.7							-98.7	
2032	18		5.0	5.0	162.5	68.3	29.7	8.7	6.8	275.9	270.9	
2033	19		5.0	5.0	162.5	68.3	29.3	8.5	6.7	275.3	270.3	
2034	20		5.0	5.0	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6	274.6	269.6	
2035	21		42.3	42.3	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5	273.8	231.5	
2036	22		5.0	5.0	162.5	68.3	27.7	8.1	6.4	272.9	267.9	
2037	23		11.3	11.3	162.5	68.3	27.0	7.9	6.2	271.9	260.6	
2038	24		21.1	21.1	162.5	68.3	26.3	7.7	6.1	270.8	249.7	
2039	25		30.5	30.5	162.5	68.3	25.6	7.5	5.9	269.7	239.2	
2040	26		46.8	46.8	162.5	68.3	24.8	7.2	5.7	268.6	221.8	
2041	27		44.6	44.6	162.5	68.3	24.1	7.0	5.5	267.4	222.8	
2042	28		40.5	40.5	162.5	68.3	23.3	6.8	5.4	266.2	225.7	
2043	29		15.1	15.1	162.5	68.3	22.4	6.5	5.2	264.9	249.8	
2044	30		12.8	12.8	162.5	68.3	21.6	6.3	5.0	263.7	250.8	
2045	31		9.8	9.8	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8	262.4	252.6	
2046	32		8.7	8.7	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6	261.1	252.4	
2047	33		28.4	28.4	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4	259.9	231.4	
2048	34		19.4	19.4	162.5	68.3	18.3	5.3	4.2	258.6	239.2	
2049	35		25.8	25.8	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0	257.4	231.6	
2050	36		29.4	29.4	162.5	68.3	16.7	4.9	3.8	256.1	226.7	
2051	37		16.3	16.3	162.5	68.3	15.9	4.6	3.7	254.9	238.6	
2052	38		11.0	11.0	162.5	68.3	15.1	4.4	3.5	253.7	242.7	
2053	39		47.5	47.5	162.5	68.3	14.3	4.2	3.3	252.6	205.1	
2054	40		48.9	48.9	162.5	68.3	13.6	4.0	3.1	251.5	202.5	
2055	41		5.0	5.0	162.5	68.3	12.9	3.8	3.0	250.4	245.4	
2056	42		5.0	5.0	162.5	68.3	12.2	3.6	2.8	249.3	244.3	
2057	43		5.0	5.0	162.5	68.3	11.5	3.4	2.7	248.3	243.3	
2058	44		5.0	5.0	162.5	68.3	10.9	3.2	2.5	247.3	242.3	
2059	45		5.0	5.0	162.5	68.3	10.2	3.0	2.4	246.4	241.4	
2060	46		5.0	5.0	162.5	68.3	9.6	2.8	2.2	245.5	240.5	
2061	47		42.3	42.3	162.5	68.3	9.1	2.6	2.1	244.6	202.3	
2062	48		5.0	5.0	162.5	68.3	8.5	2.5	2.0	243.7	238.7	
2063	49		11.3	11.3	162.5	68.3	8.0	2.3	1.8	243.0	231.7	
2064	50		21.1	21.1	162.5	68.3	7.5	2.2	1.7	354.7	596.9	575.8
合 計		564.0	762.5	1,326.5	5,361.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	354.7	8,899.0	7,572.6

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	21.8%	NPV=	2,966 億円
B/C=	4.37		

(億円)													
						割 引 後							
	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度													
2026	12	0.96	36.2	10.6	46.8								-46.8
2027	13	0.92	122.0	43.9	165.9								-165.9
2028	14	0.89	81.6	43.5	125.1								-125.1
2029	15	0.85	77.4	4.3	81.7								-81.7
2030	16	0.82	97.2	4.1	101.4								-101.4
2031	17	0.79	74.1	4.0	78.0								-78.0
2032	18	0.76		3.8	3.8	123.5	51.9	22.5	6.6	5.2		209.7	205.9
2033	19	0.73		3.7	3.7	118.7	49.9	21.4	6.2	4.9		201.2	197.5
2034	20	0.70		3.5	3.5	114.1	48.0	20.2	5.9	4.7		192.9	189.4
2035	21	0.68		28.6	28.6	109.8	46.2	19.1	5.6	4.4		184.9	156.4
2036	22	0.65		3.2	3.2	105.5	44.4	18.0	5.2	4.1		177.2	174.0
2037	23	0.62		7.1	7.1	101.5	42.7	16.9	4.9	3.9		169.8	162.8
2038	24	0.60		12.7	12.7	97.6	41.0	15.8	4.6	3.6		162.7	150.0
2039	25	0.58		17.6	17.6	93.8	39.5	14.8	4.3	3.4		155.8	138.2
2040	26	0.56		26.0	26.0	90.2	37.9	13.8	4.0	3.2		149.1	123.2
2041	27	0.53		23.8	23.8	86.7	36.5	12.8	3.7	3.0		142.8	119.0
2042	28	0.51		20.8	20.8	83.4	35.1	11.9	3.5	2.7		136.6	115.9
2043	29	0.49		7.5	7.5	80.2	33.7	11.1	3.2	2.5		130.8	123.3
2044	30	0.47		6.1	6.1	77.1	32.4	10.3	3.0	2.4		125.1	119.1
2045	31	0.46		4.5	4.5	74.1	31.2	9.5	2.8	2.2		119.8	115.3
2046	32	0.44		3.8	3.8	71.3	30.0	8.8	2.6	2.0		114.6	110.8
2047	33	0.42		12.0	12.0	68.6	28.8	8.1	2.4	1.9		109.6	97.7
2048	34	0.41		7.9	7.9	65.9	27.7	7.4	2.2	1.7		104.9	97.0
2049	35	0.39		10.1	10.1	63.4	26.7	6.8	2.0	1.6		100.4	90.3
2050	36	0.38		11.0	11.0	60.9	25.6	6.2	1.8	1.4		96.1	85.1
2051	37	0.36		5.9	5.9	58.6	24.6	5.7	1.7	1.3		92.0	86.1
2052	38	0.35		3.8	3.8	56.3	23.7	5.2	1.5	1.2		88.0	84.2
2053	39	0.33		15.9	15.9	54.2	22.8	4.8	1.4	1.1		84.2	68.4
2054	40	0.32		15.7	15.7	52.1	21.9	4.4	1.3	1.0		80.6	64.9
2055	41	0.31		1.5	1.5	50.1	21.1	4.0	1.2	0.9		77.2	75.7
2056	42	0.30		1.5	1.5	48.2	20.3	3.6	1.1	0.8		73.9	72.4
2057	43	0.29		1.4	1.4	46.3	19.5	3.3	1.0	0.8		70.8	69.4
2058	44	0.27		1.4	1.4	44.5	18.7	3.0	0.9	0.7		67.8	66.4
2059	45	0.26		1.3	1.3	42.8	18.0	2.7	0.8	0.6		64.9	63.6
2060	46	0.25		1.3	1.3	41.2	17.3	2.4	0.7	0.6		62.2	60.9
2061	47	0.24		10.3	10.3	39.6	16.6	2.2	0.6	0.5		59.6	49.3
2062	48	0.23		1.2	1.2	38.1	16.0	2.0	0.6	0.5		57.1	55.9
2063	49	0.23		2.5	2.5	36.6	15.4	1.8	0.5	0.4		54.7	52.2
2064	50	0.22		4.6	4.6	35.2	14.8	1.6	0.5	0.4	76.8	129.3	124.7
合 計													
			488.5	392.1	880.6	2,330.1	979.9	302.0	88.1	69.5	76.8	3,846.4	2,965.7

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（建設費-10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	P1-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	P1-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度												
2026	12	30.8	9.0	39.8								-39.8
2027	13	107.9	38.9	146.8								-146.8
2028	14	75.1	40.0	115.2								-115.2
2029	15	74.1	4.1	78.2								-78.2
2030	16	96.8	4.1	100.9								-100.9
2031	17	76.7	4.1	80.8								-80.8
2032	18		4.1	4.1	162.5	68.3	29.7	8.7	6.8		275.9	271.8
2033	19		4.1	4.1	162.5	68.3	29.3	8.5	6.7		275.3	271.2
2034	20		4.1	4.1	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6		274.6	270.5
2035	21		34.6	34.6	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5		273.8	239.2
2036	22		4.1	4.1	162.5	68.3	27.7	8.1	6.4		272.9	268.8
2037	23		9.2	9.2	162.5	68.3	27.0	7.9	6.2		271.9	262.6
2038	24		17.3	17.3	162.5	68.3	26.3	7.7	6.1		270.8	253.6
2039	25		24.9	24.9	162.5	68.3	25.6	7.5	5.9		269.7	244.8
2040	26		38.3	38.3	162.5	68.3	24.8	7.2	5.7		268.6	230.3
2041	27		36.5	36.5	162.5	68.3	24.1	7.0	5.5		267.4	230.9
2042	28		33.1	33.1	162.5	68.3	23.3	6.8	5.4		266.2	233.0
2043	29		12.4	12.4	162.5	68.3	22.4	6.5	5.2		264.9	252.5
2044	30		10.5	10.5	162.5	68.3	21.6	6.3	5.0		263.7	253.2
2045	31		8.0	8.0	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8		262.4	254.4
2046	32		7.2	7.2	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6		261.1	254.0
2047	33		23.3	23.3	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.9	236.6
2048	34		15.9	15.9	162.5	68.3	18.3	5.3	4.2		258.6	242.7
2049	35		21.1	21.1	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0		257.4	236.2
2050	36		24.1	24.1	162.5	68.3	16.7	4.9	3.8		256.1	232.1
2051	37		13.3	13.3	162.5	68.3	15.9	4.6	3.7		254.9	241.6
2052	38		9.0	9.0	162.5	68.3	15.1	4.4	3.5		253.7	244.7
2053	39		38.9	38.9	162.5	68.3	14.3	4.2	3.3		252.6	213.7
2054	40		40.0	40.0	162.5	68.3	13.6	4.0	3.1		251.5	211.4
2055	41		4.1	4.1	162.5	68.3	12.9	3.8	3.0		250.4	246.3
2056	42		4.1	4.1	162.5	68.3	12.2	3.6	2.8		249.3	245.2
2057	43		4.1	4.1	162.5	68.3	11.5	3.4	2.7		248.3	244.2
2058	44		4.1	4.1	162.5	68.3	10.9	3.2	2.5		247.3	243.2
2059	45		4.1	4.1	162.5	68.3	10.2	3.0	2.4		246.4	242.3
2060	46		4.1	4.1	162.5	68.3	9.6	2.8	2.2		245.5	241.4
2061	47		34.6	34.6	162.5	68.3	9.1	2.6	2.1		244.6	210.0
2062	48		4.1	4.1	162.5	68.3	8.5	2.5	2.0		243.7	239.7
2063	49		9.2	9.2	162.5	68.3	8.0	2.3	1.8		243.0	233.7
2064	50		17.3	17.3	162.5	68.3	7.5	2.2	1.7	354.7	596.9	579.6
合 計		461.5	623.8	1,085.3	5,361.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	354.7	8,899.0	7,813.7

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 25.1% NPV= 3,126 億円
B/C= 5.34

(億円)													
	割 引 後												
	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	P1-船舶の大型化便益	R1-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	P1-地震時輸送コストの削減	R1-地震時輸送コストの削減	R1-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度													
2026	12	0.96	29.6	8.7	38.3								-38.3
2027	13	0.92	99.8	36.0	135.7								-135.7
2028	14	0.89	66.8	35.6	102.4								-102.4
2029	15	0.85	63.3	3.5	66.8								-66.8
2030	16	0.82	79.6	3.4	82.9								-82.9
2031	17	0.79	60.6	3.2	63.8								-63.8
2032	18	0.76		3.1	3.1	123.5	51.9	22.5	6.6	5.2		209.7	206.6
2033	19	0.73		3.0	3.0	118.7	49.9	21.4	6.2	4.9		201.2	198.2
2034	20	0.70		2.9	2.9	114.1	48.0	20.2	5.9	4.7		192.9	190.0
2035	21	0.68		23.4	23.4	109.8	46.2	19.1	5.6	4.4		184.9	161.6
2036	22	0.65		2.7	2.7	105.5	44.4	18.0	5.2	4.1		177.2	174.6
2037	23	0.62		5.8	5.8	101.5	42.7	16.9	4.9	3.9		169.8	164.0
2038	24	0.60		10.4	10.4	97.6	41.0	15.8	4.6	3.6		162.7	152.3
2039	25	0.58		14.4	14.4	93.8	39.5	14.8	4.3	3.4		155.8	141.4
2040	26	0.56		21.3	21.3	90.2	37.9	13.8	4.0	3.2		149.1	127.9
2041	27	0.53		19.5	19.5	86.7	36.5	12.8	3.7	3.0		142.8	123.3
2042	28	0.51		17.0	17.0	83.4	35.1	11.9	3.5	2.7		136.6	119.6
2043	29	0.49		6.1	6.1	80.2	33.7	11.1	3.2	2.5		130.8	124.7
2044	30	0.47		5.0	5.0	77.1	32.4	10.3	3.0	2.4		125.1	120.2
2045	31	0.46		3.7	3.7	74.1	31.2	9.5	2.8	2.2		119.8	116.1
2046	32	0.44		3.1	3.1	71.3	30.0	8.8	2.6	2.0		114.6	111.5
2047	33	0.42		9.8	9.8	68.6	28.8	8.1	2.4	1.9		109.6	99.8
2048	34	0.41		6.4	6.4	65.9	27.7	7.4	2.2	1.7		104.9	98.5
2049	35	0.39		8.2	8.2	63.4	26.7	6.8	2.0	1.6		100.4	92.2
2050	36	0.38		9.0	9.0	60.9	25.6	6.2	1.8	1.4		96.1	87.1
2051	37	0.36		4.8	4.8	58.6	24.6	5.7	1.7	1.3		92.0	87.1
2052	38	0.35		3.1	3.1	56.3	23.7	5.2	1.5	1.2		88.0	84.9
2053	39	0.33		13.0	13.0	54.2	22.8	4.8	1.4	1.1		84.2	71.3
2054	40	0.32		12.8	12.8	52.1	21.9	4.4	1.3	1.0		80.6	67.8
2055	41	0.31		1.3	1.3	50.1	21.1	4.0	1.2	0.9		77.2	75.9
2056	42	0.30		1.2	1.2	48.2	20.3	3.6	1.1	0.8		73.9	72.7
2057	43	0.29		1.2	1.2	46.3	19.5	3.3	1.0	0.8		70.8	69.6
2058	44	0.27		1.1	1.1	44.5	18.7	3.0	0.9	0.7		67.8	66.7
2059	45	0.26		1.1	1.1	42.8	18.0	2.7	0.8	0.6		64.9	63.9
2060	46	0.25		1.0	1.0	41.2	17.3	2.4	0.7	0.6		62.2	61.2
2061	47	0.24		8.4	8.4	39.6	16.6	2.2	0.6	0.5		59.6	51.2
2062	48	0.23		1.0	1.0	38.1	16.0	2.0	0.6	0.5		57.1	56.1
2063	49	0.23		2.1	2.1	36.6	15.4	1.8	0.5	0.4		54.7	52.7
2064	50	0.22		3.7	3.7	35.2	14.8	1.6	0.5	0.4	76.8	129.3	125.6
合 計			399.7	320.8	720.5	2,330.1	979.9	302.0	88.1	69.5	76.8	3,846.4	3,125.8

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（建設期間+10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)													
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引前				RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度						RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時の削減	RI-地震時の削減					
2026	12	28.5	10.0	38.5									-38.5
2027	13	99.9	43.2	143.2									-143.2
2028	14	69.6	44.5	114.0									-114.0
2029	15	68.6	4.6	73.2									-73.2
2030	16	89.6	4.6	94.2									-94.2
2031	17	71.0	4.6	75.5									-75.5
2032	18	85.5	4.6	90.0									-90.0
2033	19		4.6	4.6	162.5	68.3	30.5	8.9	7.0		277.3		272.7
2034	20		4.6	4.6	162.5	68.3	30.0	8.8	6.9		276.5		271.9
2035	21		38.5	38.5	162.5	68.3	29.5	8.6	6.8		275.6		237.2
2036	22		4.6	4.6	162.5	68.3	28.9	8.4	6.6		274.7		270.2
2037	23		10.3	10.3	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5		273.7		263.4
2038	24		19.2	19.2	162.5	68.3	27.5	8.0	6.3		272.6		253.4
2039	25		27.7	27.7	162.5	68.3	26.7	7.8	6.2		271.4		243.7
2040	26		42.5	42.5	162.5	68.3	25.9	7.6	6.0		270.2		227.7
2041	27		40.5	40.5	162.5	68.3	25.1	7.3	5.8		269.0		228.5
2042	28		36.8	36.8	162.5	68.3	24.3	7.1	5.6		267.7		230.9
2043	29		13.8	13.8	162.5	68.3	23.4	6.8	5.4		266.4		252.7
2044	30		11.7	11.7	162.5	68.3	22.6	6.6	5.2		265.1		253.5
2045	31		8.9	8.9	162.5	68.3	21.7	6.3	5.0		263.8		254.9
2046	32		8.0	8.0	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8		262.5		254.5
2047	33		25.9	25.9	162.5	68.3	20.0	5.8	4.6		261.1		235.3
2048	34		17.6	17.6	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.8		242.2
2049	35		23.5	23.5	162.5	68.3	18.2	5.3	4.2		258.5		235.1
2050	36		26.7	26.7	162.5	68.3	17.4	5.1	4.0		257.2		230.5
2051	37		14.8	14.8	162.5	68.3	16.6	4.8	3.8		256.0		241.2
2052	38		10.0	10.0	162.5	68.3	15.8	4.6	3.6		254.8		244.8
2053	39		43.2	43.2	162.5	68.3	15.0	4.4	3.4		253.5		210.3
2054	40		44.5	44.5	162.5	68.3	14.2	4.1	3.3		252.4		207.9
2055	41		4.6	4.6	162.5	68.3	13.4	3.9	3.1		251.2		246.7
2056	42		4.6	4.6	162.5	68.3	12.7	3.7	2.9		250.1		245.6
2057	43		4.6	4.6	162.5	68.3	12.0	3.5	2.8		249.1		244.5
2058	44		4.6	4.6	162.5	68.3	11.3	3.3	2.6		248.0		243.5
2059	45		4.6	4.6	162.5	68.3	10.7	3.1	2.5		247.1		242.5
2060	46		4.6	4.6	162.5	68.3	10.1	2.9	2.3		246.1		241.6
2061	47		38.5	38.5	162.5	68.3	9.5	2.8	2.2		245.2		206.7
2062	48		4.6	4.6	162.5	68.3	8.9	2.6	2.1		244.3		239.8
2063	49		10.3	10.3	162.5	68.3	8.4	2.4	1.9		243.5		233.2
2064	50		19.2	19.2	162.5	68.3	7.8	2.3	1.8	355.8	598.5		579.3
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,198.7	2,186.2	606.0	176.7	139.5	355.8	8,662.9		7,457.0

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 21.3% NPV= 2,864 億円
B/C= 4.62

(億円)													
	割引後												
	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度													
2026	12	0.96	27.4	9.6	37.0								-37.0
2027	13	0.92	92.4	40.0	132.4								-132.4
2028	14	0.89	61.8	39.5	101.4								-101.4
2029	15	0.85	58.6	3.9	62.5								-62.5
2030	16	0.82	73.7	3.7	77.4								-77.4
2031	17	0.79	56.1	3.6	59.7								-59.7
2032	18	0.76	64.9	3.5	68.4								-68.4
2033	19	0.73		3.3	3.3	118.7	49.9	22.3	6.5	5.1		202.6	199.3
2034	20	0.70		3.2	3.2	114.1	48.0	21.1	6.2	4.9		194.3	191.1
2035	21	0.68		26.0	26.0	109.8	46.2	19.9	5.8	4.6		186.2	160.2
2036	22	0.65		3.0	3.0	105.5	44.4	18.7	5.5	4.3		178.4	175.5
2037	23	0.62		6.4	6.4	101.5	42.7	17.6	5.1	4.1		170.9	164.5
2038	24	0.60		11.5	11.5	97.6	41.0	16.5	4.8	3.8		163.7	152.2
2039	25	0.58		16.0	16.0	93.8	39.5	15.4	4.5	3.6		156.7	140.7
2040	26	0.56		23.6	23.6	90.2	37.9	14.4	4.2	3.3		150.0	126.4
2041	27	0.53		21.6	21.6	86.7	36.5	13.4	3.9	3.1		143.6	122.0
2042	28	0.51		18.9	18.9	83.4	35.1	12.5	3.6	2.9		137.4	118.5
2043	29	0.49		6.8	6.8	80.2	33.7	11.6	3.4	2.7		131.5	124.7
2044	30	0.47		5.5	5.5	77.1	32.4	10.7	3.1	2.5		125.8	120.3
2045	31	0.46		4.1	4.1	74.1	31.2	9.9	2.9	2.3		120.4	116.3
2046	32	0.44		3.5	3.5	71.3	30.0	9.1	2.7	2.1		115.2	111.7
2047	33	0.42		10.9	10.9	68.6	28.8	8.4	2.5	1.9		110.2	99.3
2048	34	0.41		7.2	7.2	65.9	27.7	7.7	2.3	1.8		105.4	98.3
2049	35	0.39		9.1	9.1	63.4	26.7	7.1	2.1	1.6		100.9	91.7
2050	36	0.38		10.0	10.0	60.9	25.6	6.5	1.9	1.5		96.5	86.5
2051	37	0.36		5.3	5.3	58.6	24.6	6.0	1.7	1.4		92.3	87.0
2052	38	0.35		3.5	3.5	56.3	23.7	5.5	1.6	1.3		88.4	84.9
2053	39	0.33		14.4	14.4	54.2	22.8	5.0	1.5	1.1		84.5	70.1
2054	40	0.32		14.3	14.3	52.1	21.9	4.6	1.3	1.0		80.9	66.7
2055	41	0.31		1.4	1.4	50.1	21.1	4.1	1.2	1.0		77.5	76.1
2056	42	0.30		1.3	1.3	48.2	20.3	3.8	1.1	0.9		74.2	72.8
2057	43	0.29		1.3	1.3	46.3	19.5	3.4	1.0	0.8		71.0	69.7
2058	44	0.27		1.2	1.2	44.5	18.7	3.1	0.9	0.7		68.0	66.7
2059	45	0.26		1.2	1.2	42.8	18.0	2.8	0.8	0.6		65.1	63.9
2060	46	0.25		1.2	1.2	41.2	17.3	2.5	0.7	0.6		62.4	61.2
2061	47	0.24		9.4	9.4	39.6	16.6	2.3	0.7	0.5		59.7	50.4
2062	48	0.23		1.1	1.1	38.1	16.0	2.1	0.6	0.5		57.2	56.2
2063	49	0.23		2.3	2.3	36.6	15.4	1.9	0.5	0.4		54.9	52.5
2064	50	0.22		4.2	4.2	35.2	14.8	1.7	0.5	0.4	77.1	129.6	125.5
合 計			435.0	356.5	791.5	2,206.6	928.0	291.7	85.1	67.1	77.1	3,655.6	2,864.1

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業】（建設期間-10%）

費用便益分析シート(割引前)

(億円)												
		割引前										
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度												
2026	12	51.3	10.0	61.3								-61.3
2027	13	137.0	43.2	180.2								-180.2
2028	14	100.5	44.5	145.0								-145.0
2029	15	99.4	4.6	103.9								-103.9
2030	16	124.6	4.6	129.2								-129.2
2031	17		4.6	4.6	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6		274.6	270.1
2032	18		4.6	4.6	162.5	68.3	28.5	8.3	6.6		274.1	269.5
2033	19		4.6	4.6	162.5	68.3	28.1	8.2	6.5		273.5	269.0
2034	20		4.6	4.6	162.5	68.3	27.6	8.1	6.4		272.8	268.2
2035	21		38.5	38.5	162.5	68.3	27.1	7.9	6.2		272.0	233.6
2036	22		4.6	4.6	162.5	68.3	26.5	7.7	6.1		271.1	266.6
2037	23		10.3	10.3	162.5	68.3	25.9	7.6	6.0		270.2	259.9
2038	24		19.2	19.2	162.5	68.3	25.2	7.4	5.8		269.2	250.0
2039	25		27.7	27.7	162.5	68.3	24.6	7.2	5.7		268.1	240.4
2040	26		42.5	42.5	162.5	68.3	23.8	7.0	5.5		267.0	224.5
2041	27		40.5	40.5	162.5	68.3	23.1	6.7	5.3		265.9	225.4
2042	28		36.8	36.8	162.5	68.3	22.3	6.5	5.1		264.7	227.9
2043	29		13.8	13.8	162.5	68.3	21.5	6.3	5.0		263.5	249.8
2044	30		11.7	11.7	162.5	68.3	20.7	6.1	4.8		262.3	250.7
2045	31		8.9	8.9	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6		261.1	252.2
2046	32		8.0	8.0	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.9	251.9
2047	33		25.9	25.9	162.5	68.3	18.3	5.4	4.2		258.7	232.8
2048	34		17.6	17.6	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0		257.5	239.8
2049	35		23.5	23.5	162.5	68.3	16.8	4.9	3.9		256.3	232.8
2050	36		26.7	26.7	162.5	68.3	16.0	4.7	3.7		255.1	228.4
2051	37		14.8	14.8	162.5	68.3	15.2	4.4	3.5		253.9	239.1
2052	38		10.0	10.0	162.5	68.3	14.5	4.2	3.3		252.8	242.8
2053	39		43.2	43.2	162.5	68.3	13.8	4.0	3.2		251.7	208.5
2054	40		44.5	44.5	162.5	68.3	13.0	3.8	3.0		250.6	206.2
2055	41		4.6	4.6	162.5	68.3	12.4	3.6	2.8		249.6	245.0
2056	42		4.6	4.6	162.5	68.3	11.7	3.4	2.7		248.6	244.0
2057	43		4.6	4.6	162.5	68.3	11.0	3.2	2.5		247.6	243.0
2058	44		4.6	4.6	162.5	68.3	10.4	3.0	2.4		246.6	242.1
2059	45		4.6	4.6	162.5	68.3	9.8	2.9	2.3		245.7	241.2
2060	46		4.6	4.6	162.5	68.3	9.3	2.7	2.1		244.9	240.3
2061	47		38.5	38.5	162.5	68.3	8.7	2.5	2.0		244.0	205.6
2062	48		4.6	4.6	162.5	68.3	8.2	2.4	1.9		243.2	238.7
2063	49		10.3	10.3	162.5	68.3	7.7	2.2	1.8		242.5	232.2
2064	50		19.2	19.2	162.5	68.3	7.2	2.1	1.7	353.6	595.3	576.1
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,523.6	2,322.9	614.1	179.1	141.3	353.6	9,134.7	7,928.8

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	25.9%	NPV=	3,235 億円
B/C=	5.00		

(億円)													
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引後					総便益(B)	純便益(B-C)	
						PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避			残存価値
2026	12	0.96	49.3	9.6	58.9							-58.9	
2027	13	0.92	126.6	40.0	166.6							-166.6	
2028	14	0.89	89.4	39.5	128.9							-128.9	
2029	15	0.85	85.0	3.9	88.8							-88.8	
2030	16	0.82	102.4	3.7	106.2							-106.2	
2031	17	0.79		3.6	3.6	128.4	54.0	22.8	6.6	5.2	217.0	213.4	
2032	18	0.76		3.5	3.5	123.5	51.9	21.6	6.3	5.0	208.3	204.8	
2033	19	0.73		3.3	3.3	118.7	49.9	20.5	6.0	4.7	199.8	196.5	
2034	20	0.70		3.2	3.2	114.1	48.0	19.4	5.7	4.5	191.7	188.5	
2035	21	0.68		26.0	26.0	109.8	46.2	18.3	5.3	4.2	183.8	157.8	
2036	22	0.65		3.0	3.0	105.5	44.4	17.2	5.0	4.0	176.1	173.2	
2037	23	0.62		6.4	6.4	101.5	42.7	16.2	4.7	3.7	168.8	162.3	
2038	24	0.60		11.5	11.5	97.6	41.0	15.2	4.4	3.5	161.7	150.1	
2039	25	0.58		16.0	16.0	93.8	39.5	14.2	4.1	3.3	154.8	138.8	
2040	26	0.56		23.6	23.6	90.2	37.9	13.2	3.9	3.0	148.3	124.7	
2041	27	0.53		21.6	21.6	86.7	36.5	12.3	3.6	2.8	142.0	120.3	
2042	28	0.51		18.9	18.9	83.4	35.1	11.5	3.3	2.6	135.9	117.0	
2043	29	0.49		6.8	6.8	80.2	33.7	10.6	3.1	2.4	130.1	123.3	
2044	30	0.47		5.5	5.5	77.1	32.4	9.8	2.9	2.3	124.5	119.0	
2045	31	0.46		4.1	4.1	74.1	31.2	9.1	2.7	2.1	119.2	115.1	
2046	32	0.44		3.5	3.5	71.3	30.0	8.4	2.4	1.9	114.0	110.6	
2047	33	0.42		10.9	10.9	68.6	28.8	7.7	2.3	1.8	109.2	98.2	
2048	34	0.41		7.2	7.2	65.9	27.7	7.1	2.1	1.6	104.5	97.3	
2049	35	0.39		9.1	9.1	63.4	26.7	6.5	1.9	1.5	100.0	90.8	
2050	36	0.38		10.0	10.0	60.9	25.6	6.0	1.7	1.4	95.7	85.7	
2051	37	0.36		5.3	5.3	58.6	24.6	5.5	1.6	1.3	91.6	86.2	
2052	38	0.35		3.5	3.5	56.3	23.7	5.0	1.5	1.2	87.7	84.2	
2053	39	0.33		14.4	14.4	54.2	22.8	4.6	1.3	1.1	83.9	69.5	
2054	40	0.32		14.3	14.3	52.1	21.9	4.2	1.2	1.0	80.4	66.1	
2055	41	0.31		1.4	1.4	50.1	21.1	3.8	1.1	0.9	76.9	75.5	
2056	42	0.30		1.3	1.3	48.2	20.3	3.5	1.0	0.8	73.7	72.3	
2057	43	0.29		1.3	1.3	46.3	19.5	3.1	0.9	0.7	70.6	69.3	
2058	44	0.27		1.2	1.2	44.5	18.7	2.9	0.8	0.7	67.6	66.4	
2059	45	0.26		1.2	1.2	42.8	18.0	2.6	0.8	0.6	64.8	63.6	
2060	46	0.25		1.2	1.2	41.2	17.3	2.3	0.7	0.5	62.1	60.9	
2061	47	0.24		9.4	9.4	39.6	16.6	2.1	0.6	0.5	59.5	50.1	
2062	48	0.23		1.1	1.1	38.1	16.0	1.9	0.6	0.4	57.0	55.9	
2063	49	0.23		2.3	2.3	36.6	15.4	1.7	0.5	0.4	54.6	52.3	
2064	50	0.22		4.2	4.2	35.2	14.8	1.6	0.5	0.4	76.6	129.0	
合 計			452.6	356.5	809.1	2,458.5	1,033.9	312.5	91.1	71.9	76.6	4,044.4	3,235.3

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【社会的割引率2%】

費用便益分析シート(割引前)

														(億円)	
		割 引 前													
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	P1-船舶の大型化便益	P1-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	R1-船舶の大型化便益	R1-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	P1-地震時輸送コストの削減	R1-地震時輸送コストの削減	R1-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)	
年度															
1987		0.2		0.2										-0.2	
1988		21.5		21.5										-21.5	
1989		36.0		36.0										-36.0	
1990		28.3		28.3										-28.3	
1991		98.9		98.9										-98.9	
1992		205.5		205.5										-205.5	
1993		185.3		185.3										-185.3	
1994		221.6		221.6										-221.6	
1995		580.8		580.8										-580.8	
1996		253.3	2.5	255.8		38.4							38.4	-217.5	
1997		83.3	3.1	86.4		54.1							54.1	-32.4	
1998		92.5	3.2	95.7		112.2							112.2	16.5	
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5							120.2	67.5	
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9							109.8	62.2	
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5							87.9	-32.0	
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4							161.3	45.1	
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9							301.8	266.1	
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3							376.1	357.4	
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3							482.1	468.5	
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8							535.2	501.3	
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9							559.2	410.8	
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3							574.9	479.6	
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4							446.4	-302.9	
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8							529.0	477.7	
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8							543.4	357.9	
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5							588.6	309.2	
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7							602.6	284.5	
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9							608.5	326.9	
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0							618.0	329.4	
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3							667.6	366.3	
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7							710.0	462.5	
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5						853.4	742.7	
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8						763.9	612.1	
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9						691.9	627.2	
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6						695.9	558.3	
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8						677.0	516.4	
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2						672.2	530.3	
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4						670.9	477.8	
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4						721.5	547.3	
2026	12	34.2	10.0	44.2	112.1	591.0	18.4						721.5	677.3	
2027	13	119.9	43.2	163.1	135.8	563.6	90.1						789.4	626.3	
2028	14	83.5	44.5	128.0	139.1	536.1	90.1						765.3	637.3	
2029	15	82.3	4.6	86.9	142.5	508.6	90.1						741.2	654.3	
2030	16	107.6	4.6	112.1	145.9	481.2	90.1						717.1	605.0	
2031	17	85.2	4.6	89.7	149.2	453.7	90.1						693.0	603.2	
2032	18		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.7	8.7	6.8		938.9	934.3	
2033	19		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.3	8.5	6.7		938.2	933.7	
2034	20		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6		937.5	933.0	
2035	21		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5		936.7	898.3	
2036	22		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	27.7	8.1	6.4		935.8	931.2	
2037	23		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	27.0	7.9	6.2		934.8	924.5	
2038	24		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	26.3	7.7	6.1		933.8	914.6	
2039	25		27.7	27.7	315.0	426.2	84.2	68.3	25.6	7.5	5.9		932.7	905.0	
2040	26		42.5	42.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.8	7.2	5.7		931.5	889.0	
2041	27		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.1	7.0	5.5		930.3	889.8	
2042	28		36.8	36.8	315.0	426.2	84.2	68.3	23.3	6.8	5.4		929.1	892.3	
2043	29		13.8	13.8	315.0	426.2	84.2	68.3	22.4	6.5	5.2		927.9	914.1	
2044	30		11.7	11.7	315.0	426.2	84.2	68.3	21.6	6.3	5.0		926.6	914.9	
2045	31		8.9	8.9	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8		925.3	916.4	
2046	32		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6		924.1	916.1	
2047	33		25.9	25.9	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4		922.8	897.0	
2048	34		17.6	17.6	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.3	4.2		921.5	903.9	
2049	35		23.5	23.5	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0		920.3	896.8	
2050	36		26.7	26.7	315.0	426.2	84.2	68.3	16.7	4.9	3.8		919.1	891.1	
2051	37		14.8	14.8	315.0	426.2	84.2	68.3	15.9	4.6	3.7		917.9	905.1	
2052	38		10.0	10.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.1	4.4	3.5		916.7	906.7	
2053	39		43.2	43.2	315.0	426.2	84.2	68.3	14.3	4.2	3.3		915.5	872.3	
2054	40		44.5	44.5	315.0	426.2	84.2	68.3	13.6	4.0	3.1		914.4	869.9	
2055	41		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.9	3.8	3.0		913.3	908.8	
2056	42		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.2	3.6	2.8		912.3	907.7	
2057	43		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.5	3.4	2.7		911.2	906.7	
2058	44		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.9	3.2	2.5		910.3	905.7	
2059	45		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.2	3.0	2.4		909.3	904.8	
2060	46		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.6	2.8	2.2		908.4	903.8	
2061	47		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	9.1	2.6	2.1		907.5	869.1	
2062	48		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	8.5	2.5	2.0		906.7	902.1	
2063	49		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	8.0	2.3	1.8		905.9	895.6	
2064	50		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	7.5	2.2	1.7	2,505.9	3,411.0	3,391.9	
合 計		6,510.1	1,031.1	7,541.2	12,037.9	30,631.4	3,570.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	2,505.9	51,928.6	44,387.5	

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【社会的割引率1%】

費用便益分析シート（割引前）

割引前													(億円)	
年度	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
1987		0.2		0.2									-0.2	
1988		21.5		21.5									-21.5	
1989		36.0		36.0									-36.0	
1990		28.3		28.3									-28.3	
1991		98.9		98.9									-98.9	
1992		205.5		205.5									-205.5	
1993		185.3		185.3									-185.3	
1994		221.6		221.6									-221.6	
1995		580.8		580.8									-580.8	
1996		253.3	2.5	255.8		38.4						38.4	-217.5	
1997		83.3	3.1	86.4		54.1						54.1	-32.4	
1998		92.5	3.2	95.7		112.2						112.2	16.5	
1999		49.5	3.2	52.7	8.7	111.5						120.2	67.5	
2000		44.4	3.2	47.5	11.9	97.9						109.8	62.2	
2001		116.7	3.2	119.9	13.4	74.5						87.9	-32.0	
2002		112.9	3.3	116.2	14.9	146.4						161.3	45.1	
2003		32.4	3.2	35.7	17.9	283.9						301.8	266.1	
2004		15.6	3.2	18.8	19.8	356.3						376.1	357.4	
2005		10.4	3.2	13.6	23.8	458.3						482.1	468.5	
2006		30.8	3.1	33.9	28.4	506.8						535.2	501.3	
2007		145.3	3.0	148.4	31.3	527.9						559.2	410.8	
2008		92.4	2.9	95.3	33.6	541.3						574.9	479.6	
2009		733.8	15.5	749.3	33.0	413.4						446.4	-302.9	
2010		47.4	3.8	51.3	40.2	488.8						529.0	477.7	
2011		168.6	16.8	185.4	40.6	502.8						543.4	357.9	
2012		226.8	52.5	279.4	32.1	556.5						588.6	309.2	
2013		291.3	26.9	318.2	24.9	577.7						602.6	284.5	
2014		259.3	22.3	281.6	24.6	583.9						608.5	326.9	
2015	1	274.2	14.4	288.6	20.0	598.0						618.0	329.4	
2016	2	290.5	10.9	301.4	21.4	646.3						667.6	366.3	
2017	3	236.6	10.9	247.5	13.3	696.7						710.0	462.5	
2018	4	100.2	10.5	110.7	11.4	745.6	96.5					853.4	742.7	
2019	5	138.9	12.9	151.8	24.7	680.5	58.8					763.9	612.1	
2020	6	59.3	5.4	64.6	34.9	602.1	54.9					691.9	627.2	
2021	7	108.1	29.5	137.6	40.6	610.7	44.6					695.9	558.3	
2022	8	141.6	19.0	160.7	39.3	620.9	16.8					677.0	516.4	
2023	9	137.2	4.7	141.9	39.2	616.8	16.2					672.2	530.3	
2024	10	166.5	26.7	193.2	61.5	591.0	18.4					670.9	477.8	
2025	11	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4					721.5	547.3	
2026	12	34.2	10.0	44.2	112.1	591.0	18.4					721.5	677.3	
2027	13	119.9	43.2	163.1	135.8	563.6	90.1					789.4	626.3	
2028	14	83.5	44.5	128.0	139.1	536.1	90.1					765.3	637.3	
2029	15	82.3	4.6	86.9	142.5	508.6	90.1					741.2	654.3	
2030	16	107.6	4.6	112.1	145.9	481.2	90.1					717.1	605.0	
2031	17	85.2	4.6	89.7	149.2	453.7	90.1					693.0	603.2	
2032	18		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.7	8.7	6.8	938.9	934.3	
2033	19		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	29.3	8.5	6.7	938.2	933.7	
2034	20		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	28.8	8.4	6.6	937.5	933.0	
2035	21		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	28.2	8.2	6.5	936.7	898.3	
2036	22		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	27.7	8.1	6.4	935.8	931.2	
2037	23		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	27.0	7.9	6.2	934.8	924.5	
2038	24		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	26.3	7.7	6.1	933.8	914.6	
2039	25		27.7	27.7	315.0	426.2	84.2	68.3	25.6	7.5	5.9	932.7	905.0	
2040	26		42.5	42.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.8	7.2	5.7	931.5	889.0	
2041	27		40.5	40.5	315.0	426.2	84.2	68.3	24.1	7.0	5.5	930.3	889.8	
2042	28		36.8	36.8	315.0	426.2	84.2	68.3	23.3	6.8	5.4	929.1	892.3	
2043	29		13.8	13.8	315.0	426.2	84.2	68.3	22.4	6.5	5.2	927.9	914.1	
2044	30		11.7	11.7	315.0	426.2	84.2	68.3	21.6	6.3	5.0	926.6	914.9	
2045	31		8.9	8.9	315.0	426.2	84.2	68.3	20.8	6.1	4.8	925.3	916.4	
2046	32		8.0	8.0	315.0	426.2	84.2	68.3	19.9	5.8	4.6	924.1	916.1	
2047	33		25.9	25.9	315.0	426.2	84.2	68.3	19.1	5.6	4.4	922.8	897.0	
2048	34		17.6	17.6	315.0	426.2	84.2	68.3	18.3	5.3	4.2	921.5	903.9	
2049	35		23.5	23.5	315.0	426.2	84.2	68.3	17.5	5.1	4.0	920.3	896.8	
2050	36		26.7	26.7	315.0	426.2	84.2	68.3	16.7	4.9	3.8	919.1	892.3	
2051	37		14.8	14.8	315.0	426.2	84.2	68.3	15.9	4.6	3.7	917.9	903.1	
2052	38		10.0	10.0	315.0	426.2	84.2	68.3	15.1	4.4	3.5	916.7	906.7	
2053	39		43.2	43.2	315.0	426.2	84.2	68.3	14.3	4.2	3.3	915.5	872.3	
2054	40		44.5	44.5	315.0	426.2	84.2	68.3	13.6	4.0	3.1	914.4	869.9	
2055	41		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.9	3.8	3.0	913.3	908.8	
2056	42		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	12.2	3.6	2.8	912.3	907.7	
2057	43		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	11.5	3.4	2.7	911.2	906.7	
2058	44		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.9	3.2	2.5	910.3	905.7	
2059	45		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	10.2	3.0	2.4	909.3	904.8	
2060	46		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	9.6	2.8	2.2	908.4	903.8	
2061	47		38.5	38.5	315.0	426.2	84.2	68.3	9.1	2.6	2.1	907.5	899.1	
2062	48		4.6	4.6	315.0	426.2	84.2	68.3	8.5	2.5	2.0	906.7	902.1	
2063	49		10.3	10.3	315.0	426.2	84.2	68.3	8.0	2.3	1.8	905.9	895.6	
2064	50		19.2	19.2	315.0	426.2	84.2	68.3	7.5	2.2	1.7	2,505.9	3,411.0	3,391.9
合 計		6,510.1	1,031.1	7,541.2	12,037.9	30,631.4	3,570.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	2,505.9	51,928.6	44,387.5

費用便益分析シート（割引後）

EIR=	11.1%	NPV=	38,327 億円
B/C=	3.80		

割引後															(億円)	
年度	施設供用期間	割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	PI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	RI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)	
1987			4.19	0.7	0.7										-0.7	
1988			4.03	86.7	86.7										-86.7	
1989			3.87	139.5	139.5										-139.5	
1990			3.72	105.1	105.1										-105.1	
1991			3.58	354.0	354.0										-354.0	
1992			3.44	706.9	706.9										-706.9	
1993			3.31	613.2	613.2										-613.2	
1994			3.18	704.9	704.9										-704.9	
1995			3.06	1,776.6	1,776.6										-1,776.6	
1996			2.94	745.2	7.3	752.5	112.8							112.8	-639.7	
1997			2.83	235.7	8.8	244.5	152.9							152.9	-91.6	
1998			2.72	251.6	8.6	260.1	305.1							305.1	44.9	
1999			2.61	129.4	8.3	137.7	22.8	291.5						314.2	176.5	
2000			2.51	111.5	8.0	119.5	29.8	246.1						275.9	156.4	
2001			2.42	282.1	7.8	290.0	32.3	180.2						212.5	-77.4	
2002			2.32	262.4	7.6	270.1	34.7	340.3						375.0	104.9	
2003			2.24	72.5	7.2	79.8	39.9	634.6						674.5	594.8	
2004			2.15	33.4	6.9	40.3	42.6	765.8						808.3	768.0	
2005			2.07	21.6	6.5	28.1	49.2	947.2						986.4	968.3	
2006			1.99	61.2	6.2	67.4	56.5	1,007.1						1,063.5	996.1	
2007			1.91	277.7	5.8	283.5	59.8	1,008.6						1,068.4	785.0	
2008			1.84	169.7	5.4	175.1	61.7	994.5						1,056.2	881.2	
2009			1.77	1,296.3	27.3	1,323.6	58.2	730.3						788.5	-535.1	
2010			1.70	80.5	6.5	87.1	68.3	830.2						889.5	811.1	
2011			1.63	275.4	27.5	302.9	66.3	821.1						887.5	594.6	
2012			1.57	356.2	82.5	438.7	50.3	873.9						924.3	485.6	
2013			1.51	439.8	40.6	480.4	37.6	872.3						910.0	429.6	
2014			1.45	376.5	32.4	408.9	35.7	847.7						883.5	474.6	
2015	1		1.40	382.8	20.1	402.9	27.9	834.8						862.7	459.8	
2016	2		1.34	389.9	14.6	404.6	28.7	867.6						896.2	491.7	
2017	3		1.29	305.3	14.1	319.4	17.2	899.3						916.4	597.0	
2018	4		1.24	124.4	13.0	137.4	14.2	925.3	119.7				1,059.2	921.8		
2019	5		1.19	165.8	15.4	181.2	29.4	812.0	70.2					911.6	730.5	
2020	6		1.15	68.0	6.2	74.2	40.0	690.9	63.0					793.9	719.7	
2021	7		1.10	119.3	32.5	151.8	44.8	673.8	49.2					767.8	616.0	
2022	8		1.06	150.3	20.2	170.5	41.7	658.7	17.9					718.3	547.8	
2023	9		1.02	140.0	4.8	144.8	40.0	629.2	16.5					685.7	540.9	
2024	10		1.01	168.1	27.0	195.1	62.2	596.9	18.6					677.6	482.5	
2025	11		1.00	159.4	14.8	174.3	112.1	591.0	18.4					721.5	547.3	
2026	12		0.99	33.9	9.9	43.8	111.0	585.2	18.2					714.4	670.6	
2027	13		0.98	117.6	42.4	159.9	133.1	552.5	88.3					773.9	613.9	
2028	14		0.97	81.0	43.2	124.2	135.0	520.3	87.4					742.8	618.6	
2029	15		0.96	79.1	4.4	83.5	136.9	488.8	86.6					712.3	628.1	
2030	16		0.95	102.3	4.3	106.7	138.8	457.8	85.7					682.3	575.6	
2031	17		0.94	80.3	4.3	84.5	140.6	427.4	84.9					653.8	568.3	
2032	18		0.93		4.2	4.2	293.8	397.5	78.5	63.7	27.7	8.1	6.4	875.7	871.5	
2033	19		0.92		4.2	4.2	290.9	393.6	77.7	63.1	27.0	7.9	6.2	866.4	862.2	
2034	20		0.91		4.2	4.2	288.0	389.7	76.9	62.5	26.3	7.7	6.1	857.2	853.0	
2035	21		0.91	34.8	34.8	285.2	385.9	76.2	61.8	25.6	7.5	5.9		848.0	813.2	
2036	22		0.90		4.1	4.1	282.4	382.0	75.4	61.2	24.8	7.2	5.7	838.8	834.7	
2037	23		0.89		9.1	9.1	279.6	378.2	74.7	60.6	24.0	7.0	5.5	829.6	820.5	
2038	24		0.88	16.9	16.9	276.8	374.5	73.9	60.0	23.1	6.7	5.3		820.5	803.6	
2039	25		0.87	24.1	24.1	274.1	370.8	73.2	59.4	22.3	6.5	5.1		811.4	787.3	
2040	26		0.86	36.6	36.6	271.4	367.1	72.5	58.8	21.4	6.2	4.9		802.4	765.7	
2041	27		0.85	34.5	34.5	268.7	363.5	71.8	58.3	20.5	6.0	4.7		793.4	758.9	
2042	28		0.84	31.1	31.1	266.0	359.9	71.1	57.7	19.6	5.7	4.5		784.5	753.4	
2043	29		0.84	11.5	11.5	263.4	356.3	70.4	57.1	18.8	5.5	4.3		775.7	746.2	
2044	30		0.83	9.7	9.7	260.8	352.8	69.7	56.6	17.9	5.2	4.1		767.0	757.3	
2045	31		0.82	7.3	7.3	258.2	349.3	69.0	56.0	17.0	5.0	3.9		758.4	751.0	
2046	32		0.81	6.5	6.5	255.6	345.8	68.3	55.4	16.2	4.7	3.7		749.8	743.4	
2047	33		0.80	20.8	20.8	253.1	342.4	67.6	54.9	15.4	4.5	3.5		741.4	720.6	
2048	34		0.80	14.0	14.0	250.6	339.0	66.9	54.3	14.5	4.2	3.3		733.0	719.0	
2049	35		0.79	18.5	18.5	248.1	335.7	66.3	53.8	13.8	4.0	3.2		724.8	706.3	
2050	36		0.78	20.8	20.8	245.7	332.4	65.6	53.3	13.0	3.8	3.0		716.7	695.8	
2051	37		0.77	11.4	11.4	243.2	329.1	65.0	52.7	12.3	3.6	2.8		708.6	697.3	
2052	38		0.76	7.6	7.6	240.8	325.8	64.3	52.2	11.5	3.4	2.7		700.7	693.1	
2053	39		0.76	32.7	32.7	238.4	322.6	63.7	51.7	10.8	3.2	2.5		692.9	660.2	
2054	40		0.75	33.3	33.3	236.1	319.4	63.1	51.2	10.2	3.0	2.3		685.2	651.9	
2055	41		0.74	3.4	3.4	233.7	316.2	62.4	50.7	9.6	2.8	2.2		677.6	674.2	
2056	42		0.73	3.3	3.3	231.4	313.1	61.8	50.2	8.9	2.6	2.1		670.1	666.8	
2057	43		0.73	3.3	3.3	229.1	310.0	61.2	49.7	8.4	2.4	1.9		662.7	659.4	
2058	44		0.72	3.3	3.3	226.9	306.9	60.6	49.2	7.8	2.3	1.8		655.5	652.2	
2059	45		0.71	3.2	3.2	224.6	303.9	60.0	48.7	7.3	2.1	1.7		648.3	645.1	
2060	46		0.71	3.2	3.2	222.4	300.9	59.4	48.2	6.8	2.0	1.6		641.2	638.0	
2061	47		0.70	26.9	26.9	220.2	297.9	58.8	47.8	6.3	1.8	1.5		634.3	607.4	
2062	48		0.69	3.1	3.1	218.0	294.9	58.2	47.3	5.9	1.7	1.4		627.4	624.3	
2063	49		0.69	7.0	7.0	215.8	292.0	57.7	46.8	5.5	1.6	1.3		620.7	613.6	
2064	50		0.68	13.0	13.0	213.7	289.1	57.1	46.3	5.1	1.5	1.2	1,699.9	2,313.9	2,300.9	
合 計			12,633.9	1,070.2	13,704.1	10,305.9	34,412.1	3,043.3	1,801.4	505.2	147.3	116.3	1,699.9	52,031.3	38,327.2	

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業：社会的割引率2%】

費用便益分析シート(割引前)

(億円)													
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引前				RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度						RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減					
2026	12	34.2	10.0	44.2									-44.2
2027	13	119.9	43.2	163.1									-163.1
2028	14	83.5	44.5	128.0									-128.0
2029	15	82.3	4.6	86.9									-86.9
2030	16	107.6	4.6	112.1									-112.1
2031	17	85.2	4.6	89.7									-89.7
2032	18		4.6	4.6	162.5	68.3	29.7	8.7	6.8		275.9		271.4
2033	19		4.6	4.6	162.5	68.3	29.3	8.5	6.7		275.3		270.8
2034	20		4.6	4.6	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6		274.6		270.0
2035	21		38.5	38.5	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5		273.8		235.3
2036	22		4.6	4.6	162.5	68.3	27.7	8.1	6.4		272.9		268.3
2037	23		10.3	10.3	162.5	68.3	27.0	7.9	6.2		271.9		261.6
2038	24		19.2	19.2	162.5	68.3	26.3	7.7	6.1		270.8		251.6
2039	25		27.7	27.7	162.5	68.3	25.6	7.5	5.9		269.7		242.0
2040	26		42.5	42.5	162.5	68.3	24.8	7.2	5.7		268.6		226.1
2041	27		40.5	40.5	162.5	68.3	24.1	7.0	5.5		267.4		226.9
2042	28		36.8	36.8	162.5	68.3	23.3	6.8	5.4		266.2		229.4
2043	29		13.8	13.8	162.5	68.3	22.4	6.5	5.2		264.9		251.2
2044	30		11.7	11.7	162.5	68.3	21.6	6.3	5.0		263.7		252.0
2045	31		8.9	8.9	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8		262.4		253.5
2046	32		8.0	8.0	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6		261.1		253.2
2047	33		25.9	25.9	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.9		234.0
2048	34		17.6	17.6	162.5	68.3	18.3	5.3	4.2		258.6		241.0
2049	35		23.5	23.5	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0		257.4		233.9
2050	36		26.7	26.7	162.5	68.3	16.7	4.9	3.8		256.1		229.4
2051	37		14.8	14.8	162.5	68.3	15.9	4.6	3.7		254.9		240.1
2052	38		10.0	10.0	162.5	68.3	15.1	4.4	3.5		253.7		243.7
2053	39		43.2	43.2	162.5	68.3	14.3	4.2	3.3		252.6		209.4
2054	40		44.5	44.5	162.5	68.3	13.6	4.0	3.1		251.5		207.0
2055	41		4.6	4.6	162.5	68.3	12.9	3.8	3.0		250.4		245.8
2056	42		4.6	4.6	162.5	68.3	12.2	3.6	2.8		249.3		244.8
2057	43		4.6	4.6	162.5	68.3	11.5	3.4	2.7		248.3		243.8
2058	44		4.6	4.6	162.5	68.3	10.9	3.2	2.5		247.3		242.8
2059	45		4.6	4.6	162.5	68.3	10.2	3.0	2.4		246.4		241.8
2060	46		4.6	4.6	162.5	68.3	9.6	2.8	2.2		245.5		240.9
2061	47		38.5	38.5	162.5	68.3	9.1	2.6	2.1		244.6		206.1
2062	48		4.6	4.6	162.5	68.3	8.5	2.5	2.0		243.7		239.2
2063	49		10.3	10.3	162.5	68.3	8.0	2.3	1.8		243.0		232.7
2064	50		19.2	19.2	162.5	68.3	7.5	2.2	1.7	354.7	596.9		577.7
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,361.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	354.7	8,899.0		7,693.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	23.3%	NPV=	4,760 億円
B/C=	5.95		

(億円)													
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引後				総便益(B)	純便益(B-C)	
							RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避			残存価値
2026	12	0.98	33.6	9.8	43.4							-43.4	
2027	13	0.96	115.3	41.5	156.8							-156.8	
2028	14	0.94	78.7	41.9	120.6							-120.6	
2029	15	0.92	76.1	4.2	80.3							-80.3	
2030	16	0.91	97.4	4.1	101.5							-101.5	
2031	17	0.89	75.6	4.0	79.7							-79.7	
2032	18	0.87		4.0	4.0	141.4	59.5	25.8	7.5	5.9	240.2	236.3	
2033	19	0.85		3.9	3.9	138.7	58.3	25.0	7.3	5.7	235.0	231.1	
2034	20	0.84		3.8	3.8	135.9	57.2	24.1	7.0	5.5	229.7	225.9	
2035	21	0.82		31.5	31.5	133.3	56.0	23.2	6.8	5.3	224.6	193.0	
2036	22	0.80		3.7	3.7	130.7	54.9	22.2	6.5	5.1	219.4	215.8	
2037	23	0.79		8.1	8.1	128.1	53.9	21.3	6.2	4.9	214.4	206.3	
2038	24	0.77		14.8	14.8	125.6	52.8	20.3	5.9	4.7	209.4	194.5	
2039	25	0.76		21.0	21.0	123.1	51.8	19.4	5.7	4.5	204.4	183.4	
2040	26	0.74		31.6	31.6	120.7	50.8	18.5	5.4	4.3	199.6	168.0	
2041	27	0.73		29.5	29.5	118.3	49.8	17.5	5.1	4.0	194.8	165.3	
2042	28	0.71		26.3	26.3	116.0	48.8	16.6	4.8	3.8	190.1	163.8	
2043	29	0.70		9.6	9.6	113.7	47.8	15.7	4.6	3.6	185.5	175.9	
2044	30	0.69		8.0	8.0	111.5	46.9	14.8	4.3	3.4	181.0	173.0	
2045	31	0.67		6.0	6.0	109.3	46.0	14.0	4.1	3.2	176.6	170.6	
2046	32	0.66		5.2	5.2	107.2	45.1	13.2	3.8	3.0	172.3	167.0	
2047	33	0.65		16.7	16.7	105.1	44.2	12.4	3.6	2.8	168.1	151.4	
2048	34	0.63		11.2	11.2	103.0	43.3	11.6	3.4	2.7	164.0	152.8	
2049	35	0.62		14.6	14.6	101.0	42.5	10.9	3.2	2.5	160.0	145.4	
2050	36	0.61		16.3	16.3	99.0	41.6	10.2	3.0	2.3	156.1	139.8	
2051	37	0.60		8.9	8.9	97.1	40.8	9.5	2.8	2.2	152.3	143.5	
2052	38	0.59		5.9	5.9	95.2	40.0	8.8	2.6	2.0	148.7	142.8	
2053	39	0.57		24.8	24.8	93.3	39.2	8.2	2.4	1.9	145.1	120.3	
2054	40	0.56		25.0	25.0	91.5	38.5	7.7	2.2	1.8	141.6	116.6	
2055	41	0.55		2.5	2.5	89.7	37.7	7.1	2.1	1.6	138.2	135.7	
2056	42	0.54		2.5	2.5	87.9	37.0	6.6	1.9	1.5	134.9	132.5	
2057	43	0.53		2.4	2.4	86.2	36.3	6.1	1.8	1.4	131.8	129.3	
2058	44	0.52		2.4	2.4	84.5	35.5	5.6	1.6	1.3	128.7	126.3	
2059	45	0.51		2.3	2.3	82.9	34.8	5.2	1.5	1.2	125.7	123.3	
2060	46	0.50		2.3	2.3	81.2	34.2	4.8	1.4	1.1	122.7	120.5	
2061	47	0.49		18.8	18.8	79.6	33.5	4.4	1.3	1.0	119.9	101.0	
2062	48	0.48		2.2	2.2	78.1	32.8	4.1	1.2	0.9	117.1	115.0	
2063	49	0.47		4.8	4.8	76.5	32.2	3.8	1.1	0.9	114.5	109.6	
2064	50	0.46		8.9	8.9	75.0	31.6	3.5	1.0	0.8	163.9	275.7	
合 計			476.6	485.1	961.7	3,460.6	1,455.3	422.0	123.1	97.1	163.9	5,722.0	4,760.2

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 費用対効果分析【残事業：社会的割引率1%】

費用便益分析シート(割引前)

(億円)													
	施設供用期間	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	PI-船舶の大型化便益	割引前				RI-施設被害回避	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
年度						RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減					
2026	12	34.2	10.0	44.2									-44.2
2027	13	119.9	43.2	163.1									-163.1
2028	14	83.5	44.5	128.0									-128.0
2029	15	82.3	4.6	86.9									-86.9
2030	16	107.6	4.6	112.1									-112.1
2031	17	85.2	4.6	89.7									-89.7
2032	18		4.6	4.6	162.5	68.3	29.7	8.7	6.8		275.9		271.4
2033	19		4.6	4.6	162.5	68.3	29.3	8.5	6.7		275.3		270.8
2034	20		4.6	4.6	162.5	68.3	28.8	8.4	6.6		274.6		270.0
2035	21		38.5	38.5	162.5	68.3	28.2	8.2	6.5		273.8		235.3
2036	22		4.6	4.6	162.5	68.3	27.7	8.1	6.4		272.9		268.3
2037	23		10.3	10.3	162.5	68.3	27.0	7.9	6.2		271.9		261.6
2038	24		19.2	19.2	162.5	68.3	26.3	7.7	6.1		270.8		251.6
2039	25		27.7	27.7	162.5	68.3	25.6	7.5	5.9		269.7		242.0
2040	26		42.5	42.5	162.5	68.3	24.8	7.2	5.7		268.6		226.1
2041	27		40.5	40.5	162.5	68.3	24.1	7.0	5.5		267.4		226.9
2042	28		36.8	36.8	162.5	68.3	23.3	6.8	5.4		266.2		229.4
2043	29		13.8	13.8	162.5	68.3	22.4	6.5	5.2		264.9		251.2
2044	30		11.7	11.7	162.5	68.3	21.6	6.3	5.0		263.7		252.0
2045	31		8.9	8.9	162.5	68.3	20.8	6.1	4.8		262.4		253.5
2046	32		8.0	8.0	162.5	68.3	19.9	5.8	4.6		261.1		253.2
2047	33		25.9	25.9	162.5	68.3	19.1	5.6	4.4		259.9		234.0
2048	34		17.6	17.6	162.5	68.3	18.3	5.3	4.2		258.6		241.0
2049	35		23.5	23.5	162.5	68.3	17.5	5.1	4.0		257.4		233.9
2050	36		26.7	26.7	162.5	68.3	16.7	4.9	3.8		256.1		229.4
2051	37		14.8	14.8	162.5	68.3	15.9	4.6	3.7		254.9		240.1
2052	38		10.0	10.0	162.5	68.3	15.1	4.4	3.5		253.7		243.7
2053	39		43.2	43.2	162.5	68.3	14.3	4.2	3.3		252.6		209.4
2054	40		44.5	44.5	162.5	68.3	13.6	4.0	3.1		251.5		207.0
2055	41		4.6	4.6	162.5	68.3	12.9	3.8	3.0		250.4		245.8
2056	42		4.6	4.6	162.5	68.3	12.2	3.6	2.8		249.3		244.8
2057	43		4.6	4.6	162.5	68.3	11.5	3.4	2.7		248.3		243.8
2058	44		4.6	4.6	162.5	68.3	10.9	3.2	2.5		247.3		242.8
2059	45		4.6	4.6	162.5	68.3	10.2	3.0	2.4		246.4		241.8
2060	46		4.6	4.6	162.5	68.3	9.6	2.8	2.2		245.5		240.9
2061	47		38.5	38.5	162.5	68.3	9.1	2.6	2.1		244.6		206.1
2062	48		4.6	4.6	162.5	68.3	8.5	2.5	2.0		243.7		239.2
2063	49		10.3	10.3	162.5	68.3	8.0	2.3	1.8		243.0		232.7
2064	50		19.2	19.2	162.5	68.3	7.5	2.2	1.7	354.7	596.9		577.7
合 計		512.7	693.2	1,205.9	5,361.2	2,254.6	610.2	177.9	140.4	354.7	8,899.0		7,693.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	23.3%	NPV=	6,024 億円
B/C=	6.63		

(億円)													
年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費	管理運営費・再投資費	総費用(C)	割引後					総便益(B)	純便益(B-C)	
						PI-船舶の大型化便益	RI-コンテナ機能拡充による輸送コストの削減	PI-地震時輸送コストの削減	RI-地震時輸送コストの削減	RI-施設被害回避			残存価値
2026	12	0.99	33.9	9.9	43.8							-43.8	
2027	13	0.98	117.6	42.4	159.9							-159.9	
2028	14	0.97	81.0	43.2	124.2							-124.2	
2029	15	0.96	79.1	4.4	83.5							-83.5	
2030	16	0.95	102.3	4.3	106.7							-106.7	
2031	17	0.94	80.3	4.3	84.5							-84.5	
2032	18	0.93		4.2	4.2	151.5	63.7	27.7	8.1	6.4	257.4	253.1	
2033	19	0.92		4.2	4.2	150.0	63.1	27.0	7.9	6.2	254.2	250.0	
2034	20	0.91		4.2	4.2	148.5	62.5	26.3	7.7	6.1	251.1	246.9	
2035	21	0.91		34.8	34.8	147.1	61.8	25.6	7.5	5.9	247.8	213.0	
2036	22	0.90		4.1	4.1	145.6	61.2	24.8	7.2	5.7	244.6	240.5	
2037	23	0.89		9.1	9.1	144.2	60.6	24.0	7.0	5.5	241.3	232.1	
2038	24	0.88		16.9	16.9	142.7	60.0	23.1	6.7	5.3	238.0	221.1	
2039	25	0.87		24.1	24.1	141.3	59.4	22.3	6.5	5.1	234.6	210.5	
2040	26	0.86		36.6	36.6	139.9	58.8	21.4	6.2	4.9	231.3	194.7	
2041	27	0.85		34.5	34.5	138.5	58.3	20.5	6.0	4.7	228.0	193.5	
2042	28	0.84		31.1	31.1	137.2	57.7	19.6	5.7	4.5	224.7	193.7	
2043	29	0.84		11.5	11.5	135.8	57.1	18.8	5.5	4.3	221.5	210.0	
2044	30	0.83		9.7	9.7	134.5	56.6	17.9	5.2	4.1	218.2	208.6	
2045	31	0.82		7.3	7.3	133.1	56.0	17.0	5.0	3.9	215.0	207.7	
2046	32	0.81		6.5	6.5	131.8	55.4	16.2	4.7	3.7	211.9	205.4	
2047	33	0.80		20.8	20.8	130.5	54.9	15.4	4.5	3.5	208.8	188.0	
2048	34	0.80		14.0	14.0	129.2	54.3	14.5	4.2	3.3	205.7	191.7	
2049	35	0.79		18.5	18.5	127.9	53.8	13.8	4.0	3.2	202.7	184.2	
2050	36	0.78		20.8	20.8	126.7	53.3	13.0	3.8	3.0	199.7	178.9	
2051	37	0.77		11.4	11.4	125.4	52.7	12.3	3.6	2.8	196.8	185.4	
2052	38	0.76		7.6	7.6	124.2	52.2	11.5	3.4	2.7	194.0	186.3	
2053	39	0.76		32.7	32.7	123.0	51.7	10.8	3.2	2.5	191.2	158.5	
2054	40	0.75		33.3	33.3	121.7	51.2	10.2	3.0	2.3	188.4	155.1	
2055	41	0.74		3.4	3.4	120.5	50.7	9.6	2.8	2.2	185.8	182.4	
2056	42	0.73		3.3	3.3	119.3	50.2	8.9	2.6	2.1	183.1	179.8	
2057	43	0.73		3.3	3.3	118.2	49.7	8.4	2.4	1.9	180.6	177.3	
2058	44	0.72		3.3	3.3	117.0	49.2	7.8	2.3	1.8	178.1	174.8	
2059	45	0.71		3.2	3.2	115.8	48.7	7.3	2.1	1.7	175.7	172.4	
2060	46	0.71		3.2	3.2	114.7	48.2	6.8	2.0	1.6	173.3	170.1	
2061	47	0.70		26.9	26.9	113.5	47.8	6.3	1.8	1.5	170.9	144.1	
2062	48	0.69		3.1	3.1	112.4	47.3	5.9	1.7	1.4	168.7	165.5	
2063	49	0.69		7.0	7.0	111.3	46.8	5.5	1.6	1.3	166.5	159.4	
2064	50	0.68		13.0	13.0	110.2	46.3	5.1	1.5	1.2	240.6	404.9	
合 計			494.2	576.2	1,070.4	4,283.7	1,801.4	505.2	147.3	116.3	240.6	7,094.4	6,024.0

神戸港 国際海上コンテナターミナル整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	108.4	千円／TEU・年	船舶の大型化に伴う輸送コストの削減	399.2	億円／年
		101.6	千円／TEU・年	コンテナ取扱機能拡充に伴う輸送コストの削減	494.5	億円／年
耐震便益	輸送コストの削減	26.4	千円／TEU・年	耐震強化に係る震災直後の輸送コストの削減 ※地震発生確率考慮	38.3	億円／年
	施設被害の回避	6.8	億円／年	施設復旧費用 ※地震発生確率考慮	6.8	億円／年
残存価値	残存価値	2,505.9	億円	ふ頭用地及び荷役機械等の残存価値 (評価期間の最終年に計上)	2,505.9	億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(-15m)、岸壁(-16m)(耐震)、岸壁(増深・耐震改良)、航路・泊地等(-15m)、航路・泊地等(-16m)、防波堤、荷さばき地 等

〔外貿コンテナ貨物の輸送コスト削減便益(船舶の大型化便益)〕

外貿コンテナを輸送する海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。基幹航路without時の代替港は、神戸港六甲アイランド地区(4,000～6,000TEUクラス)による海上輸送、海外T/Sによる海上輸送として設定する。なお、本プロジェクトは岸壁(-15m)、岸壁(-16m)の段階的な供用を図っていることから、STEP-1を岸壁(-15m)、STEP-2を岸壁(-16m)の効果として計測する。また、With時、Without時ともに神戸港を利用することから陸上輸送等にかかる費用はキャンセルアウトとした。便益対象貨物量は37万TEU(実入り)と予測。本プロジェクトの実施により、399億円/年の輸送コストが削減可能となる。

【海上輸送費用-STEP1】

項 目		北米航路-1		欧州・地中海航路		北米航路-2	
		With時 (6,000TEU)	Without時 (4,000TEU)	With時 (6,000TEU～ 10,000TEU)	Without時 (海外TS)	With時 (6,000TEU～ 10,000TEU)	Without時 (海外TS)
コンテナ取扱個数 (個/年)	20FT輸出	854	854	40,126	40,126	4,330	4,330
	40FT輸出	1,024	1,024	48,152	48,152	5,197	5,197
	20FT輸入	3,660	3,660	40,722	40,722	18,566	18,566
	40FT輸入	4,392	4,392	48,866	48,866	22,279	22,279
輸送距離(海里)(神戸港～相手港)		5,142	5,142	11,334		11,334	
1個当たり海上輸送費用 (円/個)(神戸港～相手港)	20FT	47,973	54,330	90,089～102,154		42,436～47,973	
	40FT	71,808	81,418	135,145～152,917		63,665～71,808	
輸送距離(海里)(釜山港～釜山港)					367		367
1個当たり海上輸送費用 (円/個)(釜山港～釜山港)	20FT				11,665		11,665
	40FT				17,509		17,509
輸送距離(海里)(釜山港～相手港)					11,130		5,235
1個当たり海上輸送費用 (円/個)(釜山港～相手港)	20FT				88,435		43,098
	40FT				132,663		64,658
1個当たりトランシップ費用 (円/個)(釜山港)	20FT				13,198		13,198
	40FT				19,796		19,796
海上輸送費用 (百万円/年)	20FT	217	245	8,064	9,160	1,065	1,556
	40FT	389	441	14,491	16,490	1,915	2,802
	小計	605	686	22,555	25,650	2,980	4,358
海上輸送費用削減便益(計)							4,554

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

※RC-6/7のWith時10,000TEU級-Without時海外TSをSTEP-1で集計した関係上、1個当りの海上輸送費用の表記は価格範囲がある。

【海上輸送費用-STEP2】

項 目		北米航路-1		欧州・地中海航路		北米航路-2	
		With時 (8,000TEU)	Without時 (6,000TEU)	With時 (10,000TEU)	Without時 (6,000TEU)	With時 (10,000TEU)	Without時 (6,000TEU)
コンテナ取扱個数 (個/年)	20FT輸出	854	854	32,101	32,101	3,201	3,201
	40FT輸出	1,024	1,024	38,521	38,521	3,841	3,841
	20FT輸入	3,660	3,660	32,578	32,578	13,724	13,724
	40FT輸入	4,392	4,392	39,093	39,093	16,469	16,469
輸送距離(海里)		5,142	5,142	11,334	11,334	5,142	5,142
1個当たり海上輸送費用 (円/個)	20FT	44,340	47,973	90,089	102,154	42,436	47,973
	40FT	66,488	71,808	135,145	152,917	63,665	71,808
海上輸送費用 (百万円/年)	20FT	200	217	5,827	6,607	718	812
	40FT	360	389	10,489	11,869	1,293	1,458
	小計	560	605	16,316	18,476	2,011	2,270
海上輸送費用削減便益(計)							2,464

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送時間費用-STEP1】

項 目		北米航路-1		欧州・地中海航路		北米航路-2	
		With時 (6,000TEU)	Without時 (4,000TEU)	With時 (6,000TEU～ 10,000TEU)	Without時 (海外TS)	With時 (6,000TEU～ 10,000TEU)	Without時 (海外TS)
コンテナ取扱個数 (個／年)	20FT輸出	854	854	40,126	40,126	4,330	4,330
	40FT輸出	1,024	1,024	48,152	48,152	5,197	5,197
	20FT輸入	3,660	3,660	40,722	40,722	18,566	18,566
	40FT輸入	4,392	4,392	48,866	48,866	22,279	22,279
輸送時間(時間)		300	317	634～660	674	288～300	346
時間費用原単位 (円／h／個)	20FT輸出	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812
	40FT輸出	4,218	4,218	4,218	4,218	4,218	4,218
	20FT輸入	2,271	2,271	2,271	2,271	2,271	2,271
	40FT輸入	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353
輸送時間費用 (百万円／年)	20FT輸出	720	760	73,875	76,096	3,615	4,208
	40FT輸出	1,296	1,369	132,976	136,973	6,507	7,575
	20FT輸入	2,493	2,633	60,548	62,368	12,517	14,572
	40FT輸入	4,418	4,665	107,275	110,500	22,177	25,817
	小計	8,927	9,427	374,675	385,937	44,816	52,173
輸送時間費用削減便益(計)							

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

※RC-6/7のWith時10,000TEU級-Without時海外TSをSTEP-1で集計した関係上、1個当りの海上輸送費用の表記は価格範囲がある。

【海上輸送時間費用-STEP2】

項 目		北米航路-1		欧州・地中海航路		北米航路-2	
		With時 (8,000TEU)	Without時 (6,000TEU)	With時 (10,000TEU)	Without時 (6,000TEU)	With時 (10,000TEU)	Without時 (6,000TEU)
コンテナ取扱個数 (個／年)	20FT輸出	854	854	32,101	32,101	3,201	3,201
	40FT輸出	1,024	1,024	38,521	38,521	3,841	3,841
	20FT輸入	3,660	3,660	32,578	32,578	13,724	13,724
	40FT輸入	4,392	4,392	39,093	39,093	16,469	16,469
輸送時間(時間)		288	300	634	660	288	300
時間費用原単位 (円／h／個)	20FT輸出	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812
	40FT輸出	4,218	4,218	4,218	4,218	4,218	4,218
	20FT輸入	2,271	2,271	2,271	2,271	2,271	2,271
	40FT輸入	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353
輸送時間費用 (百万円／年)	20FT輸出	691	720	57,194	59,577	2,592	2,700
	40FT輸出	1,244	1,296	102,949	107,239	4,666	4,861
	20FT輸入	2,394	2,493	46,876	48,829	8,976	9,350
	40FT輸入	4,241	4,418	83,052	86,512	15,903	16,566
	小計	8,570	8,927	290,071	302,157	32,138	33,477
輸送時間費用削減便益(計)							

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

外資コンテナ貨物の輸送コスト削減便益(船舶の大型化便益) 合計(億円／年)	399
---------------------------------------	-----

〔外貿コンテナ貨物の輸送コスト削減便益(陸上輸送コストの削減)〕

外貿コンテナを輸送する陸上輸送コスト、海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。その他航路(豪州航路、東南アジア、近海航路)については、Without時はコンテナ貨物がオーバーフローすることから、代替港を伊勢湾諸港等と設定する。便益対象貨物量は49万TEU(実入り)と予測。本プロジェクトの実施により、495億円/年の輸送コストが削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項 目		豪州航路		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)	With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数 (個/年)	20FT輸出	1,414	1,414	22,648	22,648	27,228	27,228
	40FT輸出	1,695	1,695	27,180	27,180	32,675	32,675
	20FT輸入	2,441	2,441	24,824	24,824	64,707	64,707
	40FT輸入	2,930	2,930	29,789	29,789	77,649	77,649
輸送距離(km)		7～162	91～250	7～162	91～250	7～162	4～250
1個当たり陸上輸送費用(円/個)		78,100～253,480	177,300～347,440	78,100～253,480	177,300～347,440	78,100～253,480	78,100～347,440
陸上輸送費用 (百万円/年)	輸出	412	894	6,612	13,808	8,160	14,295
	輸入	613	1,486	6,231	14,664	16,702	35,830
	小計	1,025	2,380	12,843	28,472	24,862	50,125
陸上輸送費用削減便益(計)		42,246					

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送費用】

項 目		豪州航路		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)	With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数 (個/年)	20FT輸出	1,414	1,414	22,648	22,648	27,228	27,228
	40FT輸出	1,695	1,695	27,180	27,180	32,675	32,675
	20FT輸入	2,441	2,441	24,824	24,824	64,707	64,707
	40FT輸入	2,930	2,930	29,789	29,789	77,649	77,649
輸送距離(海里)		4,411	4,388	2,697	2,791	776	776～921
1個当たり海上輸送費用 (円/個)	20FT	46,953	46,953	38,705	40,068	19,017	19,017～21,845
	40FT	70,364	70,364	57,980	60,021	28,545	28,545～32,790
海上輸送費用 (百万円/年)	20FT	181	172	1,837	1,902	1,748	1,936
	40FT	325	310	3,303	3,419	3,148	3,487
	小計	506	482	5,140	5,321	4,896	5,422
海上輸送費用削減便益(計)		683					

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)】

項 目		豪州航路		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)	With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数 (個/年)	20FT輸出	1,414	1,414	22,648	22,648	27,228	27,228
	40FT輸出	1,695	1,695	27,180	27,180	32,675	32,675
	20FT輸入	2,441	2,441	24,824	24,824	64,707	64,707
	40FT輸入	2,930	2,930	29,789	29,789	77,649	77,649
輸送時間(時間)		271～276	273～276	185～188	193～197	60～63	60～77
時間費用原単位 (円/h/個)	20FT輸出	1,947	1,947	1,947	1,947	1,947	1,947
	40FT輸出	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812	2,812
	20FT輸入	1,622	1,622	1,622	1,622	1,622	1,622
	40FT輸入	2,379	2,379	2,379	2,379	2,379	2,379
輸送時間費用 (百万円/年)	20FT輸出	749	754	8,193	8,574	3,233	3,777
	40FT輸出	1,297	1,305	14,200	14,862	5,603	6,547
	20FT輸入	1,077	1,083	7,469	7,825	6,379	7,458
	40FT輸入	1,896	1,907	13,146	13,773	11,227	13,126
輸送時間費用削減便益(計)		5,019	5,049	43,008	45,034	26,442	30,908
輸送時間費用削減便益(計)		6,522					

外貿コンテナ貨物の輸送コスト削減便益額(陸上輸送コストの削減) 合計(億円/年)	495
--	-----

〔耐震強化岸壁の整備に伴う幹線貨物の輸送コストの増大回避〕

今回整備される岸壁を耐震強化岸壁として整備することで、地震時においても継続的に幹線貨物を取り扱うことが可能となり、輸送コストの増大回避が図られる。地震時に外貿コンテナを輸送する陸上輸送コスト、海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。Without時の代替港は、対象地震（南海地震）の影響範囲を鑑みて、伊勢湾諸港等を設定。便益対象貨物量は81万TEU（実入り）と予測。本プロジェクトの実施により、914億円/年（地震発生確率考慮前）の輸送コストが削減可能となる。

耐震強化岸壁の整備に伴う幹線貨物の輸送コストの増大回避額 合計(百万円/回)	91,364
(地震発生確率考慮前)	

	単年度便益
I. 一般貨物輸送費削減（被災1年目（1年分））：B（Q1）	89,995 百万円/年
II. 一般貨物輸送費削減（被災1年後～2年後（1年分））：B（Q2）	86,533 百万円/年
社会的割引率：i	0.04
一般貨物輸送コスト削減効果：Be	176,528 百万円/年
通常時の海上輸送削減便益：B	85,164 百万円/年
通常時発現便益を除いた地震時発現便益：Be-B	91,364 百万円/年

※地震時発現便益は、当該プロジェクトの耐震強化施設で発現する通常時便益を控除する。RC7で発現する通常時の大型化便益は控除対象外としている。

【陸上輸送費用-1】

項 目		北米航路		欧州・地中海航路		豪州航路	
		With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	4,039	4,039	31,741	31,741	1,305	1,305
	40FT輸出	4,846	4,846	38,089	38,089	1,567	1,567
	20FT輸入	17,315	17,315	32,212	32,212	2,255	2,255
	40FT輸入	20,781	20,781	38,656	38,656	2,705	2,705
輸送距離(km)		7～162	91～266	7～162	91～266	7～162	91～250
輸送費用(円/個)		78,100～253,480	188,000～368,500	78,100～253,480	188,000～368,500	78,100～253,480	177,300～347,440
陸上輸送費用 (百万円/年)	輸出	1,241	2,482	9,748	21,199	60	825
	輸入	4,422	10,653	8,235	19,508	184	1,372
	小計	5,663	13,135	17,983	40,707	244	2,198
陸上輸送費用削減便益(計)		32,150					

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送費用-1】

項 目		北米航路		欧州・地中海航路		豪州航路	
		With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	4,039	4,039	31,741	31,741	1,305	1,305
	40FT輸出	4,846	4,846	38,089	38,089	1,567	1,567
	20FT輸入	17,315	17,315	32,212	32,212	2,255	2,255
	40FT輸入	20,781	20,781	38,656	38,656	2,705	2,705
輸送距離(海里)		5,142	4,992	11,334	11,425	4,411	4,388
1個当たり海上輸送費用 (円/個)	20FT	44,340	42,955	94,173	94,865	46,953	46,953
	40FT	66,488	64,411	141,238	142,276	70,364	70,364
海上輸送費用 (百万円/年)	20FT	947	917	6,023	6,067	159	167
	40FT	1,704	1,651	10,839	10,919	286	301
	小計	2,651	2,568	16,862	16,986	446	468
海上輸送費用削減便益(計)		63					

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)-1】

項 目		北米航路		欧州・地中海航路		豪州航路	
		With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (8,000TEU)	Without時 (8,000TEU)	With時 (4,000TEU)	Without時 (4,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	4,039	4,039	31,741	31,741	1,305	1,305
	40FT輸出	4,846	4,846	38,089	38,089	1,567	1,567
	20FT輸入	17,315	17,315	32,212	32,212	2,255	2,255
	40FT輸入	20,781	20,781	38,656	38,656	2,705	2,705
輸送時間(時間)		280~291	280~283	634~637	640~643	271~274	273~275
時間費用原単位 (円/h/個)	20FT輸出	2,812	2,812	2,812	2,812	1,947	1,947
	40FT輸出	4,218	4,218	4,218	4,218	2,812	2,812
	20FT輸入	2,271	2,271	2,271	2,271	1,622	1,622
	40FT輸入	3,353	3,353	3,353	3,353	2,379	2,379
輸送時間費用 (百万円/年)	20FT輸出	3,283	3,189	56,653	57,222	652	696
	40FT輸出	5,908	5,740	101,974	102,998	1,131	1,206
	20FT輸入	11,354	11,041	46,402	46,872	954	1,001
	40FT輸入	20,118	19,564	82,215	83,047	1,678	1,761
	小計	40,663	39,534	287,244	290,139	4,414	4,664
輸送時間費用削減便益(計)							2,015

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【陸上輸送費用-2】

項 目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	30,494	30,494	25,311	25,311
	40FT輸出	36,592	36,592	30,371	30,371
	20FT輸入	33,420	33,420	60,147	60,147
	40FT輸入	40,103	40,103	72,175	72,175
輸送距離(km)		7~162	91~250	6~153	69~276
1個当たり陸上輸送費用(円/個)		78,100~253,480	177,300~347,440	78,100~253,480	144,840~347,440
陸上輸送費用 (百万円/年)	輸出	8,867	18,590	7,620	14,050
	輸入	8,400	19,742	15,604	35,371
	小計	17,267	38,332	23,224	49,421
陸上輸送費用削減便益(計)					47,262

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送費用-2】

項 目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	30,494	30,494	25,311	25,311
	40FT輸出	36,592	36,592	30,371	30,371
	20FT輸入	33,420	33,420	60,147	60,147
	40FT輸入	40,103	40,103	72,175	72,175
輸送距離(海里)		2,697	2,791	776	797~921
1個当たり海上輸送費用 (円/個)	20FT	38,705	40,068	19,017	19,583~21,845
	40FT	57,980	60,021	28,545	29,394~32,790
海上輸送費用 (百万円/年)	20FT	2,474	2,561	1,625	1,842
	40FT	4,447	4,603	2,927	3,318
	小計	6,921	7,164	4,552	5,159
海上輸送費用削減便益(計)					850

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)-2】

項 目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (2,000TEU)	Without時 (2,000TEU)	With時 (1,000TEU)	Without時 (1,000TEU)
コンテナ取扱個数(個/年)	20FT輸出	30,494	30,494	25,311	25,311
	40FT輸出	36,592	36,592	30,371	30,371
	20FT輸入	33,420	33,420	60,147	60,147
	40FT輸入	40,103	40,103	72,175	72,175
輸送時間(時間)		185~188	193~196	60~63	64~76
時間費用原単位 (円/h/個)	20FT輸出	1,947	1,947	1,947	1,947
	40FT輸出	2,812	2,812	2,812	2,812
	20FT輸入	1,622	1,622	1,622	1,622
	40FT輸入	2,379	2,379	2,379	2,379
輸送時間費用 (百万円/年)	20FT輸出	11,030	11,545	3,006	3,594
	40FT輸出	19,116	20,008	5,210	6,227
	20FT輸入	10,055	10,535	5,931	7,133
	40FT輸入	17,696	18,541	10,439	12,555
	小計	57,897	60,630	24,587	29,509
輸送時間費用削減便益(計)		7,654			

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

耐震強化岸壁の整備に伴う幹線貨物の輸送コストの増大回避額 合計(百万円/年)	89,995
--	--------

(地震発生確率考慮前)

【耐震強化岸壁の整備に伴う施設被害の回避便益】

耐震強化施設は、震災時に損壊を免れることができる。本プロジェクトの実施により復旧のための追加的な支出(163億円/回)を回避することができる。(地震発生確率考慮前)

項目	With時	Without時	備 考
①岸壁(非耐震部分)建設費(百万円/回)	0	16,600	
②社会的割引率	-	0.04	
施設被害回避便益(岸壁復旧費用)(百万円/回)	-	16,281	①/2+①/(2*(1+②))

※2年目については社会的割引率を考慮した。

【残存価値】

プロジェクトの供用期間(50年)の終了とともに、その時点で残った資産は精算されると仮定する。本プロジェクトにおいて残存価値を計上できる土地、荷役機械および航路等の水域施設の残存価値を算出する。本プロジェクトの供用期間の終了と共に2,506億円の残存価値が発生する。

項目		With時	Without時
ふ頭用地	建設用地面積(m2)	1,283,000	-
	地価単価(円/m2)	160,000	-
	残存価値(億円)	2,053	-
荷役機械 (耐用年数26年)	再投資からの経過年数	0~25	-
	更新費用(億円)	1.15~39.93	-
	残存価値(億円)	139	-
水域施設 (耐用年数50年)	所得費(事業費)(億円)	1.43~322.2	-
	残存割合	10%~39%	-
	残存価値(億円)	202	-
防波堤 (耐用年数50年)	所得費(事業費)(億円)	68.7~217.1	-
	残存割合	38.8%~40.6%	-
	残存価値(億円)	112	-
残存価値 合計(億円)		2,506	-

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業 事業費

項目	数量	全体事業費(億円)
工事費		2,476
岸壁(水深16m)(耐震)【PC-18E】	1式	77
地盤改良工	400m	4
基礎工	400m	7
本体工	400m	38
被覆工	1式	0
裏込及び裏埋工	400m	10
上部工	400m	2
舗装工	1式	3
附帯工	1式	12
構造物撤去工	1式	1
岸壁(水深16m)(改良)(耐震)【RC-6～7】	1式	93
栈橋改良工	400m	3
地盤改良工	400m	71
附属工	400m	19
岸壁(水深16m)(増深・耐震改良)【PC-15～17】	1式	209
舗装工	1式	4
地盤改良工	1,150m	150
設備工	1式	6
クレーン移設工	1式	49
岸壁(水深15m)(耐震改良)【PC-14～15N】	1式	195
舗装工	1式	4
地盤改良工	700m	153
設備工	1式	4
クレーン移設工	1式	33
岸壁(水深15m)	1式	187
地盤改良工	1式	4
基礎工	700m	31
本体工	700m	64
裏込及び裏埋工	700m	19
上部工	700m	9
舗装工	1式	3

項目		数量	全体事業費(億円)
	附属工	1式	11
	鋼管杭工	1式	30
	PC桁工	1式	7
	雑工	1式	9
	岸壁(水深12m)	1式	91
	基礎工	700m	28
	本体工	700m	39
	裏込及び裏埋工	700m	14
	上部工	700m	3
	舗装工	1式	3
	附属工	1式	2
	雑工	1式	3
	岸壁(水深7.5m)	1式	31
	基礎工	130m	11
	本体工	130m	7
	裏込及び裏埋工	130m	7
	上部工	130m	4
	舗装工	1式	0
	附属工	1式	1
	雑工	1式	0
	荷さばき地	1式	494
	舗装工	1式	8
	地盤改良工	1式	486
	防波堤(第8)、(第8)南	1式	275
	地盤改良工	1,800m	27
	基礎工	1,800m	200
	本体工	1,800m	26
	根固工	1式	1
	被覆工	1式	3
	上部工	1,800m	18
	雑工	1式	1
	護岸(防波)	1式	74
	基礎工	1,548m	25

項目		数量	全体事業費(億円)
	本体工	1,548m	14
	根固工	1,548m	2
	被覆工	1式	3
	上部工	1,548m	30
	航路、泊地等(水深16m)	1式	719
	浚渫工	8,575,000m ²	638
	撤去工等	4,090,000m ²	80
	航路、泊地等(水深15m)	1式	33
	浚渫工	1,380,000m ²	33
用地費及び補償費			1,333
	用地費	1式	1,282
	補償費	1式	51
間接経費			332
合計(税込)			4,140

(2)管理運営費

項目	数量	当初総事業費 (億円／年)
管理運営費	1式	2

※港湾管理者等へのヒアリングにより算出している。

国近整企画第 37 号
令和 7 年 11 月 11 日

神戸市長 殿

近畿地方整備局長
(公 印 省 略)

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について (依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和 7 年 12 月 15 日（月）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和 7 年 12 月 5 日（金）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 技術革新企画係

電 話 06-6942-4090

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【港湾事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

(公 印 省 略)
神 港 物 第 116 号
令和7年11月20日

近畿地方整備局長
齋 藤 博 之 殿

神戸市長 久元 喜造

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案) の作成に係る意見照会について (回答)

令和7年11月11日付 国近整企画第37号にて依頼のありました標記の件について、
下記のとおり回答いたします。

記

【回答内容】

神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業は、国際コンテナ戦略港湾としての神戸港において重要な事業であり、事業継続が妥当と考えます。

今後の事業継続にあたっては、効果的な事業手法の検討やコスト縮減の徹底をお願いします。

以上

(担当)
神戸市港湾局物流戦略課
楠目、重松
TEL 078-595-6302